

高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 国語 科目 論理国語

教科：国語 科目：論理国語 単位数：3 単位

対象学年組：第3学年 A組～H組

教科担当者：（A組：小笠原 B組：中山実 C組：小笠原 D組：中山実 E組：濱田 F組：若井 G組：中山実 H組：濱田）

使用教科書：（『精選論理国語』三省堂）

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手として、国語を尊重しその能力の向上を図る態度を養う。

科目 論理国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付ける。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域		評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書読					
1 学期	「『対話』のための言葉をつくる」平田オリザ 「母親のための酸素マスク」宮地尚子 【知識及び技能】 ・論理的な文章の構成をとらえる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・具体例を検討し、筆者の主張を吟味する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自分の経験や既存の知識をもとにして考える。	・漢字・語彙 ・内容の理解 ・具体例と筆者の主張の検討			【知識及び技能】 ・論理的な文章の構成をとらえることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・具体例を検討し、筆者の主張を吟味することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・内容について、自分の経験や既知の知識をもとにして考えることができる。				14
	定期考査								1
	「『持続可能な福祉社会への道』広井良典 『新しい第3の現代文集中完答11』 【知識及び技能】 ・情報の信頼性と妥当性について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・グラフや表などのデータを活用して文章を読み解き、自分の意見を書く。 【学びに向かう力、人間性等】 ・グラフや表などの資料を積極的に活用しようとする。	・漢字・語彙 ・情報の信頼性と妥当性 ・グラフや表などの資料の活用と内容の理解 ・テーマに沿って自分の考えを書く ・作品を読みあわせて、相互に評価する。			【知識及び技能】 ・情報の信頼性と妥当性について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・グラフや表などのデータを活用して文章を読み解き、自分の意見を書くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・グラフや表などの資料を積極的に活用しようとしている。				21
定期考査								1	
2 学期	「『落語の中の経済学』大竹文雄 『欲望と資本主義』佐伯啓思 【知識及び技能】 ・論理的な文章を書くために必要な語彙と知識を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・経済をテーマに、自分の考えを論理的に書く。 【学びに向かう力、人間性等】 ・テーマに沿って、自分の考えを論理的に論述しようとする。	・漢字・語彙 ・内容の理解 ・テーマに沿って自分の考えを書く ・作品を読み合せて、相互に批評する。			【知識及び技能】 ・論理的な文章を書くために必要な語彙と知識を身に付けることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・経済をテーマに、自分の考えを論理的に書くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・テーマに沿って、自分の考えを論理的に論述しようとしている。				22
	定期考査							1	
	「『コンクリートの時代』隈研吾 『学問のすすめ』福沢諭吉 【知識及び技能】 ・語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・二つの作品を読み比べ、近現代という時代について自分の考えをもつ。 【学びに向かう力、人間性等】 ・二つの作品を読み比べ、自分の考えをまとめようとする。	・漢字・語彙 ・内容理解 ・文章の比較と検討 ・自分の考えをまとめて発表			【知識及び技能】 ・語彙を豊かにすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・二つの作品を読み比べ、近代という時代について自分の考えをもつことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・二つの作品を読み比べ、自分の考えをまとめようとしている。				22
定期考査								1	
3 学期	評論文実践演習 【知識及び技能】 ・これまでに身に付けた語彙を正しく使う。 【思考力、判断力、表現力等】 ・論の展開をとらえ、筆者の主張を正しく理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・あらゆるテーマの文章を、関心をもって読んで理解しようとする。	『LT実践長文読解』 『新しい第3の現代文集中完答11』 ・問題演習			【知識及び技能】 ・これまでに身に付けた語彙を正しく使うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・論の展開をとらえ、筆者の主張を正しく理解することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・あらゆるテーマの文章を、関心をもって読んで理解することができる。				21
	定期考査							1	
								合計	105

高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 国語 科目 現代文演習

教科：国語 科目：現代文演習 単位数：2 単位

対象学年組：第3学年 必修選択①～⑤

教科担当者：（①：柴田）（②：堀江）（③：柴田）（④：柴田）（⑤：堀江）

使用教科書：（『新国語問題集アシスト現代文編』啓隆社、『現代文完答22』尚文出版）

教科 国語 の目標：

- 【知識及び技能】社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
- 【学びに向かう力、人間性等】言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手として、国語を尊重しその能力の向上を図る態度を養う。

科目 現代文演習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
大学入試に必要な語彙や知識を身に付け、適切に使うことができるようにする。	文章を正しく解釈する力を身に付け、思考力や想像力を伸ばす。	あらゆる文章に対して、興味・関心をもって読もうとする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
1 学期	論理的な文章を読み、記述問題に解答する力をつける。 【知識及び技能】 ・ 語句の意味を理解し、文脈に応じて正しく使う。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ 文章の話題をつかみ、筆者の主張を性格に理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ 話題をつかみ、筆者の主張を理解しようとする。	・ 語句の意味と漢字 ・ 接続詞の働き ・ 段落と構成 ・ 筆者の主張と具体例 ・ 対比と比喻 ・ 資料の活用 ・ 内容要約			○	【知識及び技能】 ・ 語句の意味を理解し、文脈に応じて正しく使うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ 文章の話題をつかみ、筆者の主張を性格に理解することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ 話題をつかみ、筆者の主張を理解しようとしている。	○	○	○	10
	定期考査					○	○		1	
	文学的文章を読み、記述問題に解答する力をつける。 【知識及び技能】 ・ 文学作品に使われる表現技法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ 場面の状況や登場人物の心情を適切に理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ 場面の状況や登場人物の心情を考えながら読む。	・ 語句の意味と漢字 ・ 小説などの散文の読み方 ・ 韻文の鑑賞方法 ・ 表現技法 ・ 心情把握			○	【知識及び技能】 ・ 文学作品に使われる表現技法を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ 場面の状況や登場人物の心情を適切に理解することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ 場面の状況や登場人物の心情を考えながら読むことができる。	○	○	○	14
定期考査						○	○		1	
2 学期	論理的な文章を読み、選択式問題に解答する力をつける。 【知識及び技能】 ・ 同音異義語の意味を理解し、文脈に応じて正しく使う。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ 本文の内容から選択肢を検討し、妥当性を判断する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ 本文の内容を理解し、選択肢の妥当性を判断しようとする。	・ 語句の意味と漢字 ・ 接続詞の働き ・ 段落と構成 ・ 筆者の主張と具体例 ・ 対比と比喻 ・ 資料の活用 ・ 選択肢の検討			○	【知識及び技能】 ・ 同音異義語の意味を理解し、文脈に応じて正しく使うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ 本文の内容から選択肢を検討し、妥当性を判断することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ 本文の内容を理解し、選択肢の妥当性を判断しようとしている。	○	○	○	14
	定期考査					○	○		1	
	文学的文章を読み、選択式問題に解答する力をつける。 【知識及び技能】 ・ 【思考力、判断力、表現力等】 ・ 【学びに向かう力、人間性等】 ・	・ 語句の意味と漢字 ・ 小説などの散文の読み方 ・ 韻文の鑑賞方法 ・ 表現技法 ・ 心情把握 ・ 選択肢の検討			○	【知識及び技能】 ・ 文学的な表現技法を理解し、文脈に応じて解釈に生かすことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ 場面の状況や登場人物の心情を正確に理解し、選択肢の妥当性を判断することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ 場面の状況や登場人物の心情の理解を生かして、選択肢の妥当性を判断しようとしている。	○	○	○	14
定期考査						○	○		1	
3 学期	大学入試問題の過去問を解き、時間内に確実に解答する力をつける。 【知識及び技能】 ・ 常用漢字や熟語などの語彙を正しく使う。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ あらゆる文章や資料を用いて、入試問題に解答する力をつける。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ あらゆるテーマの文章に関心をもって読み、理解しようとする。	大学入試共通テスト対策 私立大学入試問題演習 国立大学入試問題演習			○	【知識及び技能】 ・ 常用漢字や熟語などの語彙を正しく使う。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ あらゆる文章や資料を用いて、入試問題に解答する力をつけることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ あらゆるテーマの文章に関心をもって読み、理解しようとしている。	○	○	○	14
	合計									

高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 国語 科目 古典演習

教科：国語 科目：古典演習 単位数：4 単位

対象学年組：第3学年 必修選択①～⑤

教科担当者：（①：若井） （②：濱田） （③：石岡） （④：濱田） （⑤：石岡）

使用教科書：（『精選古典探究古文編』三省堂）

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手として、国語を尊重しその能力の向上を図る態度を養う。

科目 古典演習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	古典などを通じた先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域		評価規準	知	思	態	配当 時数
			話	書 読					
1 学 期	日記『蜻蛉日記』 「文法メソッド3大鏡・枕草子に学ぶ敬語・識別」 「新国語問題集アシスト古文編」 【知識及び技能】 ・作品の読解に助動詞の知識を生かす。 【思考力、判断力、表現力等】 ・作品を読み、作者の心情を考える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作者の心情を考えながら読もうとする。	・ 語句の意味 ・ 助動詞の識別 ・ 適切な主語を補いながら読む ・ 作者の心情を考える ・ 単語や文学史の知識を覚える。		○	【知識及び技能】 ・ 作品の読解に助動詞の知識を生かすことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ 作品を読み、登場人物の心情を考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ 作者の心情を考えながら読もうとしている。	○	○	○	24
	定期考査			○		○	○		1
	物語『源氏物語』須磨 「文法メソッド3大鏡・枕草子に学ぶ敬語・識別」 「新国語問題集アシスト古文編」 【知識及び技能】 ・ 古典常識の知識を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ 作品に現れたものの見方や考え方を知り、物語を味わう。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ 作品に現れたものの見方や考え方に興味をもち、物語を味わおうとする。	・ 語句の意味 ・ 助動詞の識別 ・ 適切な主語を補いながら読む ・ 作者の心情を考える ・ 単語や文学史の知識を覚える。		○	【知識及び技能】 ・ 古典常識の知識を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ 作品に現れたものの見方や考え方を知り、物語を味わうことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ 作品に現れたものの見方や考え方に興味をもち、物語を味わおうとしている。	○	○	○	28
定期考査					○	○		1	
2 学 期	「共通テスト対策古典完答」 「文法メソッド3大鏡・枕草子に学ぶ敬語・識別」 「新国語問題集アシスト古文編」 【知識及び技能】 ・ 古典常識の知識を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ 作品に現れたものの見方や考え方を知り、物語を味わう。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ 作品に現れたものの見方や考え方に興味をもち、物語を味わおうとする。	・ 語句の意味 ・ 助動詞の識別 ・ 適切な主語を補いながら読む ・ 作者の心情を考える ・ 単語や文学史の知識を覚える。		○	【知識及び技能】 ・ 作品の読解に敬語の知識を生かすことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ 登場人物の心情を読み取り、物語を深く味わうことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ 登場人物の心情を読み取り、物語を深く味わおうとしている。	○	○	○	28
	定期考査				○	○		1	
	「共通テスト対策古典完答」 「文法メソッド3大鏡・枕草子に学ぶ敬語・識別」 「新国語問題集アシスト古文編」 【知識及び技能】 ・ 古典常識の知識を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ 作品に現れたものの見方や考え方を知り、物語を味わう。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ 作品に現れたものの見方や考え方に興味をもち、物語を味わおうとする。	・ 語句の意味 ・ 助動詞の識別 ・ 適切な主語を補いながら読む ・ 作者の心情を考える ・ 単語や文学史の知識を覚える。		○	【知識及び技能】 ・ 古典の知識を読解に活用する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ さまざまなジャンルの作品を自分の力で解釈することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ 身につけた知識を活用し、様々なジャンルの作品を読もうとしている。	○	○	○	28
定期考査					○	○		1	
3 学 期	入試対策演習 【知識及び技能】 ・ 古典の知識を読解に活用する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ 複数の作品や資料を読み比べ、作品の解釈に生かす。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ 複数の資料や作品から得た情報を解釈に生かそうとする。	・ 私立大学入試問題の実践的な解き方		○	【知識及び技能】 ・ 古典の知識を読解に活用している 【思考力、判断力、表現力等】 ・ 複数の作品や資料を読み比べ、作品の解釈に生かすことができる 【学びに向かう力、人間性等】 ・ 複数の資料や作品から得た情報を解釈に生かそうとする。	○	○	○	28
								合計	140

年間授業計画

高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 公民 科目 政治・経済

教科：公民 科目：政治・経済 単位数：4 単位

対象学年組：第3学年 選択

教科担当者：関口 知子

使用教科書：（『政治・経済』第一学習社）

教科 公民 の目標：

【知識及び技能】現代の諸課題を捉え考察し倫理的主体などとして活動するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】現実社会の諸課題の解決に向けて、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】よりよい社会の実現を視野に、各国が相互に主権を尊重し、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

科目 政治・経済 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
国際社会および我が国の政治・経済の仕組みを理解すると同時に、メディアリテラシーを育み、必要な文献や資料を活用できるようにする。	国際社会および我が国の政治・経済の仕組みのあり方と、解決すべき諸問題について、複眼的な視点を持ち、様々な立場から現状を考察することができるようになる。	社会の一員として、よりよいあり方を模索できるよう、諸問題の解決に向けて、当事者意識をもって考えていけるようになる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 単元:政治と法の意義、法の支配 【知識及び技能】・絶対王政から市民革命にいたる流れと、必要な用語を理解する。・法の精神について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】ヨーロッパの啓蒙思想の変遷を、政治史の理解の上で考察する。また法の精神と法治主義について、身近で起こりうる「法治主義」について考えてみる。 【学びに向かう力、人間性等】法を扱う当事者としての意識を持てるようにする。	・指導事項 ヨーロッパ政治史 法の精神と法治主義 ・教材 政治・経済ノート（第一学習社）	【知識・技能】絶対王政から市民革命に至る政治史を理解したか。また法の精神と法治主義について理解したか。 【思考・判断・表現】ヨーロッパの啓蒙思想の変遷を、政治史の理解の上で考察できたか。また法の精神と法治主義について、身近で起こりうる「法治主義」について考えてみる事ができたか。 【主体的に学習に取り組む態度】法を扱う当事者としての意識を持てるようになったか。	○	○	○	16
	B 単元:日本国憲法と政治制度 【知識及び技能】・世界の政治制度を知り、理解する。・国の政治の仕組みを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】世界の政治制度を理解したうえで、日本国憲法および日本の政治制度との違いなどを考えてみる。 【学びに向かう力、人間性等】よりよい政治のあり方や改憲論について当事者意識をもてるようにする。	・指導事項 日本国憲法と日本の政治制度 各国の政治制度 ・教材 政治・経済ノート（第一学習社）	【知識・技能】・世界の政治制度を知り、理解できたか。・国の政治の仕組みを理解できたか。 【思考・判断・表現】世界の政治制度を理解したうえで、日本国憲法および日本の政治制度との違いなどを考えてみたか。 【主体的に学習に取り組む態度】よりよい政治のあり方や改憲論について当事者意識をもてるようになったか。	○	○	○	16
	C 単元:地方自治と選挙制度 【知識及び技能】・地方自治を知り、理解する。・国および地方における選挙制度の仕組みを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】地方自治の本旨と、国政との違いの意味を考える。 【学びに向かう力、人間性等】政治に参加する意欲を持つ。	・指導事項 地方自治 選挙制度と政党政治 ・教材 政治・経済ノート（第一学習社）	【知識・技能】 ・地方自治を知り、理解できたか。・国および地方における選挙制度の仕組みを理解できたか。 【思考・判断・表現】地方自治の本旨と、国政との違いの意味を考察することができたか。 【主体的に学習に取り組む態度】政治に主体的に参加する意欲を持つことが出来たか。	○	○	○	18
	D 単元:国際法と国際平和 【知識及び技能】・国際社会および国際法、国際機関の変遷を知り、理解する。・国際紛争の変遷と日本の	・指導事項 国際法 国際社会 ・教材	【知識・技能】 ・国際社会および国際法、国際機関の変遷を知り、国際紛争の変遷と日本のあり方を理解できたか。				

	あり方を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・国際問題と、それに対峙する日本のあり方について、様々な考え方を、自分の考えを持つ。 【学びに向かう力、人間性等】 国際問題に関心を持ち、当事者意識を持って取り組む。	政治・経済ノート（第一学習社）	【思考・判断・表現】 ・国際問題と、それに対峙する日本のあり方について、様々な考え方を、自分の考えを持てたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 国際問題に関心を持ち、当事者意識を持って取り組めるようになったか。	○	○	○	16
	定期考査			○	○		1
	E 単元:市場経済の機能と限界 【知識及び技能】 ・市場の仕組みを理解する。・景気循環と経済成長について理解する。・市場の失敗について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 経済主体が行う経済活動および日本経済におけるさまざまな課題に気付く。 【学びに向かう力、人間性等】 よりよい市場のあり方を模索できるようになる。	・指導事項 経済活動と市場 景気循環と経済成長 市場の失敗 ・教材 政治・経済ノート（第一学習社）	【知識・技能】 ・市場の仕組みを理解する。・景気循環と経済成長について理解する。・市場の失敗について理解できたか。 【思考・判断・表現】 経済主体が行う経済活動および日本経済におけるさまざまな課題に気付けたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 よりよい市場のあり方を模索できるようになったか。	○	○	○	18
	F単元:財政と金融政策 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 ・教材 政治・経済ノート（第一学習社）	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	18
	G単元:労働問題と社会保障 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 ・教材 政治・経済ノート（第一学習社）	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	18
2 学 期	H単元:国際経済の特質と日本の役割 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 ・教材 政治・経済ノート（第一学習社）	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	18
	定期考査			○	○		1

3
学
期

						合計 140

年間授業計画

高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 地理歴史 科目 世界史発展

教科：地理歴史 科目：世界史発展 単位数：6 単位

対象学年組：第3学年 選択

教科担当者：藤井 真州

使用教科書：（『詳説世界史』山川出版社）

教科 地理歴史 の目標：

【知識及び技能】世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的にまとめる技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、

【学びに向かう力、人間性等】歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うと

科目 世界史発展 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解しているとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 単元:東アジア世界の展開とモンゴル帝国 【知識及び技能】10世紀前半に東アジアで政権の交替があいついだ背景、そこで成立した諸国の共通点、宋における社会や経済の発展の様子を理解する。モンゴル帝国による支配が東アジアにおよぼした影響について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】宋の対外関係および宋代の文化の特徴を多面的・多角的に考察する。モンゴル帝国が成立した背景、東西交流の新鮮さを多面的・多角的に考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】宋・元時代に対して抱いた興味・関心や疑問について追究する。	・指導事項 1 アジア諸地域の自立化と宋 2 モンゴルの大帝国 ・教材 詳説世界史10分間テスト アカデミア世界史（図説） ウイニングコンパス ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】10～12世紀の東アジアの情勢について、東アジア内の交流と再編を中心に理解している。モンゴル帝国がどのように成立し、解体したのか、そして帝国の支配は社会にどのような影響を与えたのかを理解している 【思考・判断・表現】各種資料をもとに、宋代の経済発展が社会に引き起こした変化、モンゴル帝国の成立世界的な意義を多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】10～12世紀の東アジアやモンゴル帝国について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	16
	B 単元:大交易・大交流の時代 【知識及び技能】モンゴル帝国解体後のアジア各地の状況、世界的な商業の発展が明の朝貢体制におよぼした影響、ヨーロッパの人々の進出がアジアにもたらした影響や変化、16世紀の東南アジアで台頭した新興勢力の共通点を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】明朝初期の国内統治の特徴、明代後期の中国の社会・経済・文化と世界の商業の活発化との関係、ヨーロッパの人々が遠洋に乗り出していった動機や背景、16世紀に一体化が始まった「世界」の性格を多面的・多角的に考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】モンゴル・明に対して抱いた興味・関心や疑問について追究する。	・指導事項 1 アジア交易世界の興隆 2 ヨーロッパの海外進出とアメリカ大陸の変容 ・教材 詳説世界史10分間テスト アカデミア世界史（図説） ウイニングコンパス ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】「世界の一体化」が始まった時期のアジアにおいて、どのような動きがあったのかを理解している。ヨーロッパの海洋進出について、その動機や背景、経緯を理解している。 【思考・判断・表現】各種資料をもとに、この時期のアジア内およびアジアと世界の交流およびヨーロッパの海洋進出が諸地域にもたらした影響を多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】アジア交易世界やヨーロッパの海洋進出とアメリカ大陸の変容について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	16
	定期考査			○	○		1
	C 単元:アジアの諸帝国の繁栄 【知識及び技能】オスマン帝国・サファヴィー朝・ムガル帝国・清の建国と勢力拡大の経緯を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】これらの大国が社会に与えた影響を多面的・多角的に考察する。 【学びに向かう力、人間性等】これらの大国の繁栄に対して抱いた興味・関心や疑問について追究する。	・指導事項 1 オスマン帝国とサファヴィー朝 2 ムガル帝国の興隆 3 清代の中国と隣接諸地域 ・教材 詳説世界史10分間テスト アカデミア世界史（図説） ウイニングコンパス ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】オスマン帝国とサファヴィー朝がどのように支配を確立し、統治をおこなっていたのか、ムガル帝国において非イスラーム教徒に対する施策がどのように変化したのか、清朝の基礎が築かれた経緯や清代の政治と社会の特徴および周辺諸国との関係について理解している。 【思考・判断・表現】オスマン帝国とサファヴィー朝の特徴や両者の関係、ムガル帝国の興隆と衰退が南アジアに与えた影響、清代の皇帝と従来の中国王朝の皇帝との違いを多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】これらの大国の繁栄について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	15
D 単元:近世ヨーロッパ世界の動向 【知識及び技能】ルネサンス・科学	・指導事項 1 ルネサンス	【知識・技能】ルネサンスの特徴や広がり・新しい宗派の成立過程とその影響、ヨーロッ					

2 学 期	<p>革命・宗教改革の意義、およびヨーロッパにおける主権国家体制の成立について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】上記の事象が後世に与えた影響について、多面的・多角的に考察する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】上記の事象に対して抱いた興味・関心や疑問について追究する。</p>	<p>2 宗教改革</p> <p>3 主権国家体制の成立</p> <p>4 オランダ・イギリス・フランスの台頭</p> <p>5 北欧・東欧の動向</p> <p>6 科学革命と啓蒙思想</p> <p>・教材 詳説世界史10分間テスト アカデミア世界史 (図説) ウイニングコンパス ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>バにおける主権国家体制の成立と各国の情勢について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】各種資料をもとに、ルネサンスの新旧両面、宗教改革が広まった要因、主権国家成立と戦争の関係、イギリス台頭の要因、啓蒙専制主義による改革が及ぼした影響、科学革命が社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】各事象について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見直しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	18
	定期考査			○	○		1
	<p>E 単元:産業革命と環大西洋革命</p> <p>【知識及び技能】産業革命と「世界の一体化」、アメリカ合衆国独立・フランス革命の経緯と影響、中南米諸国の経緯について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】産業革命が世界経済や社会に与えた影響・合衆国の独立がヨーロッパ諸国に与えた影響・フランス革命とナポレオンの支配がに対する人々の反応・これらと中南米諸国の独立との関係について、多面的・多角的に考察する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】上記の事象に対して抱いた興味・関心や疑問について追究する。</p>	<p>・指導事項</p> <p>1 産業革命</p> <p>2 アメリカ合衆国の独立と発展</p> <p>3 フランス革命とナポレオンの支配</p> <p>4 中南米諸国の独立</p> <p>・教材 詳説世界史10分間テスト アカデミア世界史 (図説) ウイニングコンパス ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】ヨーロッパ外との経済関係が産業革命の関連について、アメリカ合衆国の独立・フランス革命・ナポレオンの支配・中南米諸国の独立が相互に関連していることを理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】各種資料をもとに、上記事象の世界史的な意義を多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】上記事象について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見直しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	18
	<p>F 単元:イギリスの優位と欧米国民国家の形成</p> <p>【知識及び技能】ウィーン体制の成立と動揺・アメリカ合衆国の発展・19世紀欧米文化について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】1848年革命の前後、アメリカ合衆国の拡大が南北戦争につながる事、19世紀欧米文化の国民国家形成との関連について多面的・多角的に考察する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】上記の事象に対して抱いた興味・関心や疑問について追究する。</p>	<p>・指導事項</p> <p>1 ウィーン体制とヨーロッパの政治・社会の変動</p> <p>2 列強体制の動揺とヨーロッパの再編成</p> <p>3 アメリカ合衆国の発展</p> <p>4 19世紀欧米文化の展開と市民文化の繁栄</p> <p>・教材 詳説世界史10分間テスト アカデミア世界史 (図説) ウイニングコンパス ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】19世紀のヨーロッパ情勢の推移、欧米文化の展開、南北戦争につながったアメリカ合衆国内の対立構造やその後の展開について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】各種資料をもとに、ウィーン会議がヨーロッパ各地に与えた影響、19世紀後半のヨーロッパ再編成、アメリカ合衆国の急速な発展の要因、19世紀欧米文化の現代文化とのつながりを多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】19世紀欧米の政治的・社会的・文化的な動きについて、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見直しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	18
	<p>G 単元:アジア諸地域の動揺</p> <p>【知識及び技能】オスマン帝国・サファヴィー朝・ムガル帝国・清などの大国の衰退と列強の進出について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】アジア各地の変容について、欧米列強との関係だけでなく、その内部の動きを含めて考察するとともに、文明による違いを多面的・多角的に考察する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】上記の事象に対して抱いた興味・関心や疑問について追究する。</p>	<p>・指導事項</p> <p>1 西アジア地域の変容</p> <p>2 南アジア・東南アジアの植民地化</p> <p>3 東アジアの激動</p> <p>・教材 詳説世界史10分間テスト アカデミア世界史 (図説) ウイニングコンパス ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】オスマン帝国など西アジアの動揺や改革の推移、南アジア・東南アジアの植民地化、列強の進出に対する東アジア諸国の対応について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】各種資料をもとに、アジア各地の変容を多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】アジア各地の変容について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見直しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	16
	定期考査			○	○		1
	<p>H 単元:帝国主義とアジアの民族運動</p> <p>【知識及び技能】第2次産業革命と帝国主義、列強の世界分割と列強体制の二分化、アジア諸国の変革と民族運動について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】欧米列強がいかにして支配勢力になっていくか、それに対する各地の動きを多面的・多角的に考察する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】上記の事象に対して抱いた興味・関心や疑問について追究する。</p>	<p>・指導事項</p> <p>1 第2次産業革命と帝国主義</p> <p>2 列強の世界分割と列強体制の二分化</p> <p>3 アジア諸国の変革と民族運動</p> <p>・教材 詳説世界史10分間テスト アカデミア世界史 (図説) ウイニングコンパス ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】第2次産業革命が社会に与えた影響や帝国主義時代の欧米列強の国内情勢および植民地拡大の経緯、世界分割がどのように進められたかについて、アジア各地における改革や民族運動がどのように展開し、いかなる結果をもたらしたのか理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】各種資料をもとに、欧米列強が植民地や勢力圏の拡大を争った背景とその影響、アジア各地の変革や民族運動の背景を多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】第2次産業革命と帝国主義、列強の世界分割、アジア諸国の変革と民族運動について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見直しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	18

3 学 期	I 単元:第一次世界大戦と世界の変容 【知識及び技能】第一次世界大戦とロシア革命の経緯、大戦後の欧米諸国・アジア・アフリカ地域の民族運動について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】大戦勃発の原因・戦時外交・総力戦・大戦の影響について多面的・多角的に考察する。ロシア革命の歴史的意義を考察する。ヴェルサイユ体制の成立とその後の展開を多面的・多角的に考察する。 【学びに向かう力、人間性等】上記に対して抱いた興味・関心や疑問について追究する。	・指導事項 1 第一次世界大戦とロシア革命 2 ヴェルサイユ体制下の欧米諸国 3 アジア・アフリカ地域の民族運動 ・教材 詳説世界史10分間テスト アカデミア世界史 (図説) ウイニングコンパス ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】第一次世界大戦とロシア革命がどのように展開したのかを、戦時外交や総力戦の特徴、大戦のもたらした結果などとあわせて理解している。ヴェルサイユ体制やアジア・アフリカ各地の動きを理解している。 【思考・判断・表現】各種資料をもとに、第一次世界大戦とロシア革命が世界にもたらした変容、1920年代の欧米各国における変容、アジア・アフリカ各地の民族運動の特徴や共通性を多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】第一次世界大戦とロシア革命、ヴェルサイユ体制下の欧米諸国、アジア・アフリカ地域の民族運動について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	18
	定期考査			○	○		1
	J 単元:第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成 【知識及び技能】世界恐慌への各国の対策、ナチス=ドイツの体制成立、ソ連の計画経済、第二次世界大戦の展開、戦後国際秩序について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】世界恐慌の背景・影響、独ソ戦および太平洋戦争の開戦が第二次世界大戦にもたらした影響、第二次世界大戦の特徴について多面的・多角的に考察する。 【学びに向かう力、人間性等】上記に対して抱いた興味・関心や疑問について追究する。	・指導事項 1 世界恐慌とヴェルサイユ体制の破壊 2 第二次世界大戦 3 新しい国際秩序の形成 ・教材 詳説世界史10分間テスト アカデミア世界史 (図説) ウイニングコンパス ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】世界恐慌への各国の対策、ナチス=ドイツの体制成立、ソ連の計画経済、第二次世界大戦の展開、戦後国際秩序について理解している。 【思考・判断・表現】各種資料をもとに、ファシズム諸国の動き、第二次世界大戦の特徴、戦後国際秩序化の各国における変容を多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】世界恐慌やヴェルサイユ体制の崩壊、第二次世界大戦、戦後の国際秩序について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	18
	K 単元:冷戦と第三世界の台頭 【知識及び技能】米ソそれぞれの同盟網の広がりや核開発競争、西欧・日本の経済復興、A・A諸国の自立化、ベトナム戦争、デタント、スターリン批判について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】冷戦の進展がアメリカ社会に与えた影響、スターリン後のソ連・東欧における変化、キューバ革命の影響・第三世界における開発独裁の特徴について考察するとともに、文明による違いを多面的・多角的に考察する。 【学びに向かう力、人間性等】上記に対して抱いた興味・関心や疑問について追究する。	・指導事項 1 冷戦の展開 2 第三世界の台頭とキューバ危機 3 冷戦体制の動揺 ・教材 詳説世界史10分間テスト アカデミア世界史 (図説) ウイニングコンパス ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】米ソそれぞれの同盟網の広がりや核開発競争、西欧・日本の経済復興、A・A諸国の自立化、ベトナム戦争、デタント、スターリン批判について理解している。 【思考・判断・表現】各種資料をもとに、を多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】冷戦の展開、第三世界の台頭とキューバ危機、冷戦体制の動揺について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	18
L 単元:冷戦の終結と今日の世界 【知識及び技能】1970年代初頭に世界経済がいかなる転換を迎えたのか、中東の変容、開発途上国の工業化、冷戦の終結、経済における世界の一体化について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】経済成長にともなう先進諸国の政策・社会の変化、オイル=ショックが与えた影響、ペレストロイカと東欧革命、今日の国際関係の特徴について多面的・多角的に考察する。 【学びに向かう力、人間性等】上記に対して抱いた興味・関心や疑問について追究する。	・指導事項 1 産業構造の変容 2 冷戦の終結 3 今日の世界 4 現代文明の諸相 ・教材 詳説世界史10分間テスト アカデミア世界史 (図説) ウイニングコンパス ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】1960～1980年代の各国の経済や社会の状況、冷戦終結の経緯、冷戦終結後の各地の状況や地域・民族紛争、経済における世界の一体化、現代思想・文化の特徴について理解している。 【思考・判断・表現】各種資料をもとに、オイル=ショック、東西対立の緩和、今日の世界が抱えている課題、人々の世界観や生活のありようの変化を多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】オイル=ショックとその影響、冷戦の終結、今日の世界が抱えている課題、現代文明の諸相について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	16	
定期考査			○	○		1	
						合計	210

年間授業計画

高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 地理・歴史 科目 日本史発展

教科：地理・歴史 科目：日本史発展 単位数：6 単位

対象学年組：第3学年 A組～G組

教科担当者：（日本史発展①：高嶋 薫） （日本史発展②：高嶋 薫） （組： ） （組： ）

使用教科書：（『詳説日本史』（山川出版社））

教科 地理・歴史 の目標： 社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追求したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを旨とする。

【知識及び技能】 日本の歴史の展開を理解するとともに、調査や諸資料を活用して、様々な情報を適切かつ効果的にまとめる技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 歴史に関わる事象の意味や意義、伝統・文化の特色などを、時期・年代による推移、相互の関連に着目して多面的・多角的に考察し、歴史にみられる課題を把握し、解決について構想する。考察・構想を効果的に発表したり議論したりする力をつける。

【学びに向かう力、人間性等】 歴史に関わる事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究する態度を養うとともに、多面的・多角的な考察と深い理解を通して日本国民としての自我、我が国の歴史への愛情、他国の歴史・文化への理解と尊重の重要性を自覚し、国際化の中で変動する現代社会で活躍する資質を涵養する。

科目 日本史発展 の目標： 社会的事象の歴史的新見方・考え方を働かせ、課題を追求したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを旨とする。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
我が国の歴史の展開に関する諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。	我が国の歴史の展開に関する事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。	我が国の歴史の展開に関する諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
A 開国と幕末の動乱 ①国際社会に組み込まれるという国際環境の変化に着目して、日本の開国を社会・経済面での変化と関わらせて考察する。 ②江戸幕府の威信低下と雄藩の台頭について、政治情勢の変化と列強の動向を関連させて理解する。	・指導事項 1 鎖国政策の終焉 2 幕末貿易 3 公武合体政策と尊皇攘夷運動 ・教材 教科書、詳説日本史ノート（ワークブック）、図説日本史通覧（帝国書院）、詳説日本史史料集（実教出版）、日本史B一問一答完全版（東進ブックス） ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 欧米諸国の進出によるアジア諸国の変化について諸資料から適切に情報を読み取り、江戸幕府が対外政策を転換して開国に至る経緯などを理解している。 【思考・判断・表現】 日本が直面していた国内外における諸課題を踏まえ、政治や経済などの諸側面の変化などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 日本の開国に関わる諸事象を国際的な視点から考察し、開国のもたらす政治的・経済的・社会的影響について主体的に追究しようとしている。	○	○	○	6
B 幕府の滅亡と新政府の発足 ①幕末の動乱における天皇を中心とする統一国家構想の芽生えから幕府の滅亡、旧幕勢力の一端に至るまでの経過を理解する。 ②近世から近代への変化について考察し、時代を通観する問いを表現する。	・指導事項 1 王政復古 2 戊辰戦争 3 五箇条の誓文と政体書 ・教材 教科書、詳説日本史ノート（ワークブック）、図説日本史通覧（帝国書院）、詳説日本史史料集（実教出版）、日本史B一問一答完全版（東進ブックス） ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 政治・経済の変化と思想への影響などに着目して、諸資料から適切に情報を読み取り、幕藩体制の崩壊と新政権の成立について理解している。 【思考・判断・表現】 日本がどのような契機によって近代的社会の形成に向かっていくことになるのか、近代の特色を探究するための時代を通観する問いを表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 幕末の政治動乱の過程を多角的に考察することを通じて、近代の学習へのつながりを主体的に見出そうとしている。	○	○	○	4
C 明治維新と富国強兵 ①明治新政府の制度改革や富国強兵・殖産興業政策に着目して、政治的変革と国家的統一過程を理解する。 ②欧米文化・思想の導入と近代化政策に対する土族反乱・農民一揆の発生と、言論闘争への転換を理解する。 ③明治初期の対外政策について、欧米への対応とアジアに対する外交政策の違いについて考察する。	・指導事項 1 版籍奉還と廃藩置県 2 身分制の改革 3 地租改正 4 殖産興業 5 文明開化 6 明治初期の対外関係 ・教材 教科書、詳説日本史ノート（ワークブック）、図説日本史通覧（帝国書院）、詳説日本史史料集（実教出版）、日本史B一問一答完全版（東進ブックス） ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 明治政府による中央集権化の諸政策と土族反乱の終焉、欧米・アジア諸地域との国際関係、文明開化の風潮について、諸資料から情報を読み取って理解している。 【思考・判断・表現】 諸制度の改革が地域社会にもたらした変化や諸外国と結んだ条約の相互比較、欧米の思想・文化の影響などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 明治維新や文明開化の風潮が展開する中で生じた様々な課題や、歴史の展開における画期についての課題を見出し、主体的に追究しようとしている。	○	○	○	6
D 立憲国家の成立 ①政府の強力な中央集権体制への志向のもとで、自由民権運動の始まりから立憲国家の成立に至る間、近代国家の基盤が形成されていく過程を考察する。 ②大日本帝国憲法の性格について具体的に多角的に理解する。	・指導事項 1 自由民権運動 2 松方デフレ 3 大日本帝国憲法 4 初期議会 ・教材 教科書、詳説日本史ノート（ワークブック）、図説日本史通覧（帝国書院）、詳説日本史史料集（実教出版）、日本史B一問一答完全版（東進ブックス） ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 諸資料から読み取れる地域社会の変化に着目して、自由民権運動の展開や大日本帝国憲法の制定と議会開設に至る過程を理解している。 【思考・判断・表現】 国内体制を欧米の水準に合わせることを改革の前提にあったことを踏まえ、社会構造の変化や地方自治の展開について多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 自由民権運動の展開過程を考察したうえで、日本における立憲政治の導入がもたらした課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	9
E 日清・日露戦争と国際関係 ①東アジアをめぐる国際環境が変容する中、国家的課題であった不平等条約の改正交渉が進展した過程や、朝鮮問題から日清戦争に至る経緯について理解する。 ②開戦に至る国際関係や、日露戦争の経過、戦後の日本の国際的地位の変化と植民地支配の推進について、諸外国の動向と関連づけて考察する。	・指導事項 1 条約改正 2 日清戦争と三国干渉 3 日清戦後の内外情勢 4 日露戦争 5 韓国併合と桂園時代 ・教材 教科書、詳説日本史ノート（ワークブック）、図説日本史通覧（帝国書院）、詳説日本史史料集（実教出版）、日本史B一問一答完全版（東進ブックス） ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 日清・日露戦争の前後における条約改正の完成、韓国併合や満洲への勢力拡張などについて諸資料から情報を読み取り、この時期の戦争の様相や背景、日本の国際的地位の変化を理解している。 【思考・判断・表現】 議院が戦争を支持する一方で反戦論が存在したこと、戦争が国民としての自覚や意識の高まりをもたらしたことなどについて多面的・多角的に考察し、根拠を明らかにして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 対外的な戦争が日本の近代化の過程の中でもった意味を考察し、主体的に追究しようとしている。	○	○	○	9

定期考査			○	○		1	
1 学 期	F 第一次世界大戦と日本 ①第一次世界大戦前後の政治の動向および対外政策の推移について、政党政治の発展や日本の中国進出の状況を踏まえて理解する。 ②第一次世界大戦が日本の社会経済や政治に及ぼした影響について、欧米・アジア経済との関係や政党内閣の成立などと関連させて考察する。	・指導事項 1 大正政変 2 第一次世界大戦 3 政党内閣の誕生 ・教材 教科書、詳説日本史ノート(ワークブック)、図説日本史通覧(帝國書院)、詳説日本史史料集(実教出版)、日本史B一問一答完全版(東進ブックス) ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 第一次世界大戦が日本に及ぼした影響に着目して、大戦後の国際的な協調体制における日本の立場や対外政策の変化について諸資料から適切に情報を読み取り、理解している。 【思考・判断・表現】 大戦中の日本の動向を踏まえ、中国や朝鮮をはじめとするアジア近隣諸国民が日本の対外姿勢をどのように受け止めたのかを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 対外戦争がもたらした国内的・国際的な変化を踏まえて学習を振り返るとともに、次の学習へのつながりを見出そうとしている。				8
	G ワシントン体制 ①ワシントン体制に至る国際的協調体制の進展など国際環境の推移を、日本の立場に着目して理解する。 ②民主主義的風潮による社会運動の動向を理解するとともに、普選運動など政党政治の発展から二大政党による政党内閣制成立に至るまでの意義について考察する。	・指導事項 1 バリ講和会議 2 ワシントン体制 3 社会運動の勃興 4 普選運動と護憲三派内閣 ・教材 教科書、詳説日本史ノート(ワークブック)、図説日本史通覧(帝國書院)、詳説日本史史料集(実教出版)、日本史B一問一答完全版(東進ブックス) ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ヴェルサイユ体制からワシントン体制に至る経過や中国・朝鮮における民族運動の高揚に着目し、国内で様々な社会運動が起こった背景と政党政治の成立について理解している。 【思考・判断・表現】 大戦後に国民の権利の拡大がもたらされたことを踏まえ、国際的な反戦意識や国際的な民族運動の高揚について多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 東アジア・太平洋地域における国際協調体制の特質を考察することを通じて、当時の日本外交に与えた影響やその課題を主体的に追究しようとしている。				9
	H 近代産業の発展 ①日清・日露戦争前後にかけて資本主義国家の基礎が確立された過程を、産業革命や近代産業の発展に着目して理解する。 ②近代産業の発展にともなう社会問題(労働問題・公害問題)の発生と政府の対応について考察する。	・指導事項 1 産業革命 2 紡績と製糸の発展 3 重工業の形成 4 労働運動 ・教材 教科書、詳説日本史ノート(ワークブック)、図説日本史通覧(帝國書院)、詳説日本史史料集(実教出版)、日本史B一問一答完全版(東進ブックス) ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 産業の発展の背景と影響などに着目し、諸資料から産業革命の展開について適切に情報を読み取り、地域社会における労働や生活の変化が社会問題を生み出したことを理解している。 【思考・判断・表現】 地域社会の変化などを踏まえて産業全般の変化がもたらされたことや、労働問題や公害問題の発生について多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 産業の発展とそれによる社会問題への対応について課題を見出し、自ら主体的に追究しようとしている。				6
	I 近代文化の発達 ①伝統的な文化のうねりに欧米文化を摂取するなど二元性をもって成立した近代文化の特色について、政治・経済・外交などの視点をもって考察する。 ②義務教育の普及・定着とともに、国家主義的教育が浸透していくことを理解する。	・指導事項 1 明治の文化と宗教 2 教育の普及 3 科学・文学・芸術 4 生活様式の近代化 ・教材 教科書、詳説日本史ノート(ワークブック)、図説日本史通覧(帝國書院)、詳説日本史史料集(実教出版)、日本史B一問一答完全版(東進ブックス) ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 国家主義的な思想の形成、実証的な学問研究、欧米の科学技術の導入、教育の普及・拡充について、諸資料から情報を読み取る技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 学校教育の必要性の説かれ方や、学校教育の内容と地域社会の変容、国民意識との関係について、近代文化の形成を踏まえて考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 明治期の文化に関わる政府と国民の動向を考察することを通じて、明治文化の特色を主体的に追究しようとしている。				5
	J 市民生活の変容と大衆文化 ①労働者や都市中間層の拡大による大衆社会の基盤の成立に着目し、都市化や市民生活の変化を踏まえて、大衆文化の特色について考察する。 ②大衆文化の前提となる教育の普及・発展、マスメディアの発達について理解する。	・指導事項 1 大戦景気 2 都市化の進展 3 大衆文化の誕生 ・教材 教科書、詳説日本史ノート(ワークブック)、図説日本史通覧(帝國書院)、詳説日本史史料集(実教出版)、日本史B一問一答完全版(東進ブックス) ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 学問・芸術・出版・マスメディアの発展について諸資料から情報を読み取り、欧米文化との関わりとその浸透度、社会風潮との関連を理解している。 【思考・判断・表現】 都市の発達、鉄道・駅の設置やその影響、工場の増加や生活の変化など、地域社会の変容について多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 マスメディアや出版の発達によって誕生した大衆社会が生み出す課題について、自ら主体的に追究しようとしている。				4
K 恐慌の時代 ①戦後恐慌から昭和恐慌に至る国内経済の動揺について、国内・国外の経済状況と対策に着目して理解する。 ②社会主義運動の高揚と国家主義の台頭による軍部の政治的進出を踏まえて、協調外交が挫折していく過程を考察する。	・指導事項 1 戦後恐慌から金融恐慌へ 2 積極外交 3 金解禁と世界恐慌 4 協調外交の挫折 ・教材 教科書、詳説日本史ノート(ワークブック)、図説日本史通覧(帝國書院)、詳説日本史史料集(実教出版)、日本史B一問一答完全版(東進ブックス) ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 国際社会やアジア近隣諸国との関係に着目して、日本で連続した恐慌と政府の対応などに関わる諸資料から情報を読み取り、恐慌と国際関係について理解している。 【思考・判断・表現】 ワシントン体制下の協調外交が、中国における民族運動の進展や日本の経済の動向によって次第に緊張が高まったことについて考察し、根拠を明確にして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 当時の新聞などから世論の動向を読み取ったり、様々な人々の議論について考察したりして、課題を主体的に追究しようとしている。				6	
L 軍部の台頭 ①日本の対外政策の推移について、世界情勢や軍部の政治的進出に着目して、政党内閣の崩壊や国際的孤立の過程について理解する。 ②恐慌から脱出し、国家主義が高揚する中で、五・一五事件から二・二六事件にかけて、軍部の影響力が増大していく過程を考察する。	・指導事項 1 満州事変 2 国際関係の孤立 3 恐慌からの脱出 4 2.26事件 ・教材 教科書、詳説日本史ノート(ワークブック)、図説日本史通覧(帝國書院)、詳説日本史史料集(実教出版)、日本史B一問一答完全版(東進ブックス) ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 政治・経済体制の変化に着目して、満州事変に際しての世論や軍部の直接行動に関連する諸資料から情報を読み取り、軍部の台頭と対外政策について理解している。 【思考・判断・表現】 当時の社会が抱えた矛盾と満州事変などの対外政策、国内での軍部の政治的進出などの諸事象を相互に関連づけて多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 満州事変や国内の国家改造運動の展開を考察することを通じて、軍部の政治的台頭がもたらした課題を主体的に追究しようとしている。				6	
M 第二次世界大戦 ①日中戦争の勃発から太平洋戦争の突入に至る過程について、国民生活の変化や諸統制に着目して全体主義的な国家体制の進展を考察する。 ②第二次世界大戦について、国家間の相違や総力戦の特色を踏まえ、この戦争が空前の惨禍をもたらした点に着目して、平和で民主的な国際社会の実現に努める重要性を認識する。	・指導事項 1 日中戦争 2 戦時統制と市民生活 3 新体制運動と三国同盟 4 太平洋戦争と国民生活の崩壊 ・教材 教科書、詳説日本史ノート(ワークブック)、図説日本史通覧(帝國書院)、詳説日本史史料集(実教出版)、日本史B一問一答完全版(東進ブックス) ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 戦争の推移と国民生活への影響などに着目して、戦争の長期化と欧米諸国との外交関係に関わる諸資料から情報を読み取り、戦時体制の強化と第二次世界大戦の展開について理解している。 【思考・判断・表現】 戦争がアメリカやイギリスなどとの戦争に拡大した理由や、日本における全体主義的な国家体制の進展について多面的・多角的に考察し、根拠を示して表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】				6	

	・一人1台端末の活用 等	【主体的に学習に取り組む態度】 日中戦争から太平洋戦争に至る過程や日本政府の対応を考察することを通じて、第二次世界大戦期の国際関係について主体的に課題を追究しようとしている。					
定期考査			○	○			1
A 占領と改革 ①戦後の世界秩序を踏まえ、占領政策および戦後の民主化政策とそれとともなう諸改革について、その経過と内容を理解する。 ②戦後政治の動きを踏まえて、集大成となる日本国憲法制定の意義を考察する。	・指導事項 1 初期の占領政策 2 民主化と政党の復活 3 日本国憲法 4 大衆運動の高揚 ・教材 教科書、詳説日本史ノート（ワークブック）、図説日本史通覧（帝國書院）、詳述日本史料集（実教出版）、日本史B一問一答完全版（東進ブックス） ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 第二次大戦前後の政治や社会の類似と相違などに着目して、戦後の諸改革の内容と日本国憲法の制定に関わる諸資料を読み取り、占領政策と諸改革について理解している。 【思考・判断・表現】 戦後の諸改革が連合国の対日占領政策にもとづくとともに、戦争に対する日本国民の反省に支えられつつ実施されたことについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 現代の日本との関係性を踏まえながら、占領期における諸改革が生み出した成果と課題について、主体的に追究しようとしている。	○	○	○		6
B 冷戦の開始と講和 ①東アジア情勢の変化を踏まえ、連合国による占領が終結して日本が独立した意義を考える。 ②連合国による日本占領の終結と、その後の日米関係の継続について、様々な国の立場から考察する。	・指導事項 1 占領政策の転換 2 朝鮮戦争 3 講和と安保体制 ・教材 教科書、詳説日本史ノート（ワークブック）、図説日本史通覧（帝國書院）、詳述日本史料集（実教出版）、日本史B一問一答完全版（東進ブックス） ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 占領政策の転換による日本の政治や経済の変化に関わる諸資料から情報を読み取り、サンフランシスコ平和条約の調印による日本の主権回復の意義について理解している。 【思考・判断・表現】 地域社会の変容にも留意しながら、占領の前後の社会や思想・文化などを比較・考察し、その結果を根拠を明確にして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 連合国による日本占領機構の特色やその目的を考察することを通じて、戦後改革がどのような社会の枠組みを形成したのか、主体的に課題を追究しようとしている。	○	○	○		5
C 55年体制 ①独立後の日本国内政治について、衆議院を保守・革新の二大勢力が占める55年体制の成立から安定した保守政権となるまでの経過を理解する。 ②冷戦構造の中で日本が国際社会に復帰したことについて、日本の国際連合への加盟、アメリカ・中華人民共和国・大韓民国との関係に着目して、独立回復後の日本の動きを考察する。	・指導事項 1 逆コース 2 55年体制 3 新安保条約と安保闘争 ・教材 教科書、詳説日本史ノート（ワークブック）、図説日本史通覧（帝國書院）、詳述日本史料集（実教出版）、日本史B一問一答完全版（東進ブックス） ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 保守合同による自由民主党の成立から、経済成長を背景とする安定した保守政権の誕生に至る経緯について諸資料から情報を読み取り、外交・政治・経済を踏まえて理解している。 【思考・判断・表現】 日ソ共同宣言をはじめとする国交交渉と国際連合への加盟、新安保条約・LTP貿易・日韓基本条約・沖繩返還問題などの外交事案がもたらした課題を多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 55年体制の歴史的意義や、1960年代における保守政権の安定化を考察することを通じて、独立後の国内政治について主体的に課題を見出そうとしている。	○	○	○		4
D 復興から高度経済成長へ ①朝鮮特需による経済復興とその後の高度経済成長について、経済の国際化と国内の技術革新などの側面に着目して考察する。 ②消費革命による社会の変貌と、経済成長がもたらしたひずみである社会問題について理解する。	・指導事項 1 朝鮮特需と経済復興 2 高度経済成長 3 大衆消費社会の誕生 4 高度経済成長のひずみ ・教材 教科書、詳説日本史ノート（ワークブック）、図説日本史通覧（帝國書院）、詳述日本史料集（実教出版）、日本史B一問一答完全版（東進ブックス） ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 冷戦やグローバル化の進展の影響などに着目して、戦後の日本経済の成長や高度成長期の国民生活や地域社会の変化に関わる諸資料から情報を読み取っている。 【思考・判断・表現】 日本の経済復興や高度成長を国際関係から関連づけたら、様々な社会問題の発生について多面的・多角的に考察したりして、その結果を表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 高度経済成長がもたらした国内的・国際的な日本の変化を踏まえて学習を振り返るとともに、次の学習へのつながりを見出そうとしている。	○	○	○		4
E 経済大国への道 ①ドル＝ショックや石油危機を踏まえて、主要先進国首脳会議が開かれた意義を理解する。 ②高度成長が終焉し、保守政権が動揺する中、2度にわたる石油危機を乗り越え、経済大国としての道を歩み始めた日本の状況を多面的・多角的に考察する。	・指導事項 1 ドル危機と石油危機 2 高度経済成長の終焉 3 経済大国の実現 4 バブル経済と市民生活 ・教材 教科書、詳説日本史ノート（ワークブック）、図説日本史通覧（帝國書院）、詳述日本史料集（実教出版）、日本史B一問一答完全版（東進ブックス） ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ドル＝ショックや石油危機による世界経済の混乱に対応するため主要先進国首脳会議が開かれる一方、日本は石油危機を乗り越えて経済大国となったことを理解している。 【思考・判断・表現】 日本が石油危機を乗り越えて経済大国となった要因について多面的・多角的に考察し、その結果を表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 第二次世界大戦後の日本の国際社会における様々な取り組みについて、課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○		6
F 冷戦の終結と日本社会の変容 ①冷戦体制の終結とそれに関わる国内の状況について、日本の政治・外交・経済・生活文化面を踏まえて多面的・多角的にとらえる。 ②科学技術・産業の発達によって派生する環境問題やエネルギー問題などの日本の課題とそれに対する日本の役割を認識する。	・指導事項 1 冷戦から地域紛争へ 2 現代の諸課題 ・教材 教科書、詳説日本史ノート（ワークブック）、図説日本史通覧（帝國書院）、詳述日本史料集（実教出版）、日本史B一問一答完全版（東進ブックス） ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 冷戦終結後の国際関係、55年体制が崩壊した政治状況、バブル経済から平成不況へと進んだ経済状況などについて理解している。 【思考・判断・表現】 国連平和維持活動への対応や経済不況に対する国内改革など、冷戦終結後の日本が抱える課題について多面的・多角的に考察し、その結果を表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 冷戦終結後の国際社会において日本がどのような役割を果たしてきたのか、自ら課題を見出して主体的に追究しようとしている。	○	○	○		4
定期考査			○	○			1
G 日本文化のあけぼの ①人類文化の発生を考え、日本列島における旧石器文化・縄文文化の時代の社会を理解する。 ②打製石器・磨製石器・縄文土器の発掘、竪穴住居の状況など考古学の成果によって教科書の叙述が成り立っていることに気づく。	・指導事項 1 旧石器時代 2 縄文文化の成立 3 縄文人の生活と信仰 ・教材 教科書、詳説日本史ノート（ワークブック）、図説日本史通覧（帝國書院）、詳述日本史料集（実教出版）、日本史B一問一答完全版（東進ブックス） ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 日本列島における旧石器文化・縄文文化の成立と変容を、自然環境の変化や大陸との影響に着目して理解している。 【思考・判断・表現】 黒曜石などの考古資料をもとに、集落・風習・食生活の変化などを踏まえて旧石器文化・縄文文化の社会について考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 黎明期の日本列島の歴史的環境と文化の形成について考察することを通じて、旧石器文化や縄文文化の特色を明らかにしようとしている。	○	○	○		5
H 農耕社会の成立 ①大陸からの稲作伝播の様子や地域性の顕著な道具の分布を踏まえて、弥生文化の形成を考察する。	・指導事項 1 弥生文化の成立 2 小国の分立 3 邪馬台国連合	【知識・技能】 水稲耕作の開始・金属器の伝来が弥生文化の社会に与えた影響を理解し、弥生土器などの出土品から得られる情報を収集して読み取る技能を身につけてい					

	どのような関係があるかを考察する。	<ul style="list-style-type: none"> 教材 教科書、評説日本史ノート（ワークブック）、図説日本史通覧（帝国書院）、詳述日本史史料集（実教出版）、日本史B一問一答完全版（東進ブックス） 一人1台端末の活用 等 	<p>国際関係の変化や国境の拡大を踏まえ、伊王教の出現による浄土の信仰の変容、かな文学の成立による国文学の発達などに着目して、貴族の生活・文化の特色を考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 平安時代の政治の在り方と文化との関係を考察することを通じて、そのつながりを見出そうとしている。</p>	○	○	○	4
	<p>Q 地方政治の展開と武士</p> <p>①律令制にもとづく地方統治体制の崩れへの対応が、公領支配の変質、荘園の拡大をもたらした経過を考察する。</p> <p>②地方の反乱やその鎮圧など、武士の成長過程について、源氏などを例にとりて考察する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 指導事項 1 受領と負名 2 荘園の発達 3 地方の反乱と武士の成長 教材 教科書、詳説日本史ノート（ワークブック）、図説日本史通覧（帝国書院）、詳述日本史史料集（実教出版）、日本史B一問一答完全版（東進ブックス） 一人1台端末の活用 等 	<p>【知識・技能】 地方の諸勢力の成長と影響などに着目して、律令制度の実態や地方における開発、治安の維持、荘園の発達などについて、その特色や変容を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 文献資料を活用して、国司の支配の変容と公領の変質、荘園の発達を踏まえて地方支配の状況を考察し、根拠を示して表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 国司の在り方や徴税方式の変化、武士の出現など、地方の豪族や武力をもった勢力の動向が政治・社会に与えた影響を明らかにしようとしている。</p>	○	○	○	4
	定期考査			○	○		1
3 学	<p>A 院政の始まり</p> <p>①院政期前後の土地支配形態を踏まえて、院政期の政治・経済・社会・文化を理解する。</p> <p>②外戚関係や人材登用など、後三条天皇が摂関家に遠慮せず改革を進めた背景を考察する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 指導事項 1 延久の荘園整理令と荘園公領制 2 院政の開始 教材 教科書、詳説日本史ノート（ワークブック）、図説日本史通覧（帝国書院）、詳述日本史史料集（実教出版）、日本史B一問一答完全版（東進ブックス） 一人1台端末の活用 等 	<p>【知識・技能】 貴族政治や土地制度の変容などをもとに、諸資料から得られる情報を適切かつ効果的に調べてまとめ、古代から中世の国家・社会の変容を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 武士が台頭する契機や、この時期の土地制度の仕組みなどを考察し、古代から中世への時代の転換について根拠を示して表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 中世社会の特色について多面的・多角的に考察することを通じて、時代を通観する問いを表現し、追究しようとしている。</p>	○	○	○	4
	<p>B 院政と平氏政権</p> <p>①政治の動向、国際関係・経済・文化への対応を踏まえて、平氏政権の特性について考察する。</p> <p>②古代から中世への変化について考察し、時代を通観する問いを表現する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 指導事項 1 院政期の社会 2 保元・平治の乱 3 平氏政権 4 院政期文化 教材 教科書、詳説日本史ノート（ワークブック）、図説日本史通覧（帝国書院）、詳述日本史史料集（実教出版）、日本史B一問一答完全版（東進ブックス） 一人1台端末の活用 等 	<p>【知識・技能】 平氏政権の台頭とその背景、宋との交易などについて、諸資料から様々な情報を読み取り、武士の政治進出について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 武家政権の権力基盤となる武士の土地所有に至る変化を考察し、歴史における土地の支配や所有がもつ意味について多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 古代との比較などを通して、中世では同じ時期に政治的な力をもつ勢力が複数存在していたことなど、中世の特色を探究しようとしている。</p>	○	○	○	4
	<p>C 鎌倉幕府の成立</p> <p>①鎌倉幕府が東国の地方政権から全国的な武家政権に成長していく過程を理解する。</p> <p>②鎌倉幕府の成立時期をめぐる諸説に関して、それぞれの根拠を明確にして考察する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 指導事項 1 源平の争乱 2 鎌倉幕府 3 幕府と朝廷 教材 教科書、詳説日本史ノート（ワークブック）、図説日本史通覧（帝国書院）、詳述日本史史料集（実教出版）、日本史B一問一答完全版（東進ブックス） 一人1台端末の活用 等 	<p>【知識・技能】 諸資料から情報を読み取り、源平争乱から鎌倉幕府の成立過程、幕府と朝廷の二元的支配構造、封建制度の成立などについて理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 幕府と朝廷の二元的支配構造の特色について、諸資料から得られた情報をもとに、根拠を明確にして表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 鎌倉幕府の成立過程や封建制度の形成に関する課題を主体的に追究し、前の時代とのつながりを見出そうとしている。</p>	○	○	○	4
	<p>D 武士の社会</p> <p>①承久の乱にともなう公武関係の変化に着目して、將軍独裁体制から執権政治の確立に至る過程を理解する。</p> <p>②武士の生活と地方支配を通じて、土地に対する実質的な支配権を地頭が掌握するに至った過程を考察する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 指導事項 1 北条氏の台頭 2 承久の乱 3 執権政治 4 武士の生活と土地支配 教材 教科書、詳説日本史ノート（ワークブック）、図説日本史通覧（帝国書院）、詳述日本史史料集（実教出版）、日本史B一問一答完全版（東進ブックス） 一人1台端末の活用 等 	<p>【知識・技能】 承久の乱が幕府と朝廷との関係に与えた影響について、諸資料から適切に情報を読み取り、理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 武家と公家の関係の変化が土地の支配に及ぼした影響を考察し、根拠を明確にして表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 公武関係の変化による武家政権の展開に着目し、鎌倉時代を通じた武家の支配の特質について主体的に追究しようとしている。</p>	○	○	○	4
	<p>E 蒙古襲来と幕府の衰退</p> <p>①モンゴル襲来による政治・経済・文化への影響が、幕府の衰退につながっていくことを理解する。</p> <p>②非御家人に対する権限拡大など、幕府勢力が西国に浸透したことの意義を考察する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 指導事項 1 蒙古襲来 2 蒙古襲来後の政治 3 琉球とアイヌの動向 4 社会の変動 5 幕府の衰退 教材 教科書、詳説日本史ノート（ワークブック）、図説日本史通覧（帝国書院）、詳述日本史史料集（実教出版）、日本史B一問一答完全版（東進ブックス） 一人1台端末の活用 等 	<p>【知識・技能】 宋・元などユーラシアとの交流に着目して、モンゴル襲来の国際的な背景や国内政治への影響について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 鎌倉時代の生産の発達と商品の流通、東アジア情勢や国内での貨幣経済の発達とその意義について、多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 宋・元などユーラシアとの交流と経済や文化への影響について、主体的に追究しようとしている。</p>	○	○	○	4
	<p>F 鎌倉文化</p> <p>①庶民や武士の活動が活発化し、鎌倉仏教が成立するなど、文化の新しい気運が生まれたことを理解する。</p> <p>②伝統的な公家文化の世界で、有職故実・古典研究などの学問が進展した背景を考察する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 指導事項 1 鎌倉新仏教 2 中世文学 3 美術の新傾向 教材 教科書、詳説日本史ノート（ワークブック）、図説日本史通覧（帝国書院）、詳述日本史史料集（実教出版）、日本史B一問一答完全版（東進ブックス） 一人1台端末の活用 等 	<p>【知識・技能】 公武関係の変化やユーラシアとの交流などに着目し、鎌倉時代の宗教や文化の特色について、諸資料から情報を収集して読み取る技能を身につけている。</p> <p>【思考・判断・表現】 宋・元との交流の窓口や貿易の担い手などを視野に入れて、ユーラシアとの交流を多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 鎌倉時代の宗教や文化にみられる平安時代からの特徴の継承や差異について、主体的に追究しようとしている。</p>	○	○	○	3
	<p>G 室町幕府の成立</p> <p>①南北朝の動乱から室町幕府の成立</p>	<ul style="list-style-type: none"> 指導事項 1 鎌倉幕府の滅亡 	<p>【知識・技能】 鎌倉幕府滅亡後の政治権力の推移と武家の関係、日</p>				

<p>と安定について、日本諸地域の動向などを踏まえて考察する。</p> <p>②琉球・蝦夷ヶ島を含む東アジアとの交流が中世日本にもたらした影響について理解する。</p>	<p>2 建武の新政 3 南北朝の動乱 4 守護大名と国人一揆 5 室町幕府 6 勘合貿易</p> <p>・教材 教科書、詳説日本史ノート（ワークブック）、図説日本史通覧（帝国書院）、詳述日本史史料集（実教出版）、日本史B一問一答完全版（東進ブックス）</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>明貿易の展開と琉球王国の成立などについて、諸資料から情報を収集して理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 南北朝の動乱などにみられる地域の政治・経済の基盤をめぐる対立や、東アジアの国際情勢の変化とその影響について、多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 武家政権の変容や東アジアの国際情勢の変化などに着目し、諸資料を活用して前後の時代とのつながりを見出そうとしている。</p>	○	○	○	5
<p>H 幕府の衰退と庶民の台頭</p> <p>①庶民の活動が社会秩序の変革の原動力として成長していったことを踏まえて、幕府の動揺や下剋上の風潮を考察する。</p> <p>②諸産業の発達による庶民の台頭を踏まえて、中世社会の多様な展開を幅広く理解する。</p>	<p>・指導事項</p> <p>1 惣村の形成 2 土一揆と幕府の動揺 3 応仁の乱と国一揆 4 諸産業と流通の発達</p> <p>・教材 教科書、詳説日本史ノート（ワークブック）、図説日本史通覧（帝国書院）、詳述日本史史料集（実教出版）、日本史B一問一答完全版（東進ブックス）</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 諸産業や流通、地域経済が成長したことに着目し、諸資料から情報を読み取り、庶民が台頭して村などの自治的な単位が成立したことを理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 自治的な村の単位や一揆の組織が成立した要因と背景について、地理的な条件や流通など経済活動との関わりを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 室町時代に成立した村の自治的な運営が現代社会における自治とどのように異なるかなど、自身との関わりにおいて課題を主体的に追究しようとしている。</p>	○	○	○	4
<p>I 室町文化</p> <p>①武家政権の支配の進展や東アジア世界との交流に着目して、武家文化と公家文化および、大陸文化と伝統文化の関わりについて理解する。</p> <p>②庶民文化の萌芽や、応仁の乱を契機とした文化の地方伝播、戦国大名の保護による文化の地方普及を理解する。</p>	<p>・指導事項</p> <p>1 文化の融合 2 室町文化の成立 3 室町文化の展開 4 庶民文芸の流行 5 地方への普及</p> <p>・教材 教科書、詳説日本史ノート（ワークブック）、図説日本史通覧（帝国書院）、詳述日本史史料集（実教出版）、日本史B一問一答完全版（東進ブックス）</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 経済の進展や各地の都市や村の発達、東アジアとの交流などに着目して、室町時代における多様な文化の形成や融合について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 室町時代の文化の特徴と、当時の政治や経済の動向との関係を多面的・多角的に考察し、根拠を明らかにして表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 室町時代の宗教や文化の特徴について、鎌倉時代との比較を通じて類似点や差異を見出そうとしている。</p>	○	○	○	4
<p>J 戦国大名の登場</p> <p>①応仁の乱以降、地方権力として登場した戦国大名や各地に展開した都市について、諸地域の地理的条件と関連づけて考察する。</p>	<p>・指導事項</p> <p>1 戦国大名 2 戦国大名の分国支配 3 都市の発展と町衆</p> <p>・教材 教科書、詳説日本史ノート（ワークブック）、図説日本史通覧（帝国書院）、詳述日本史史料集（実教出版）、日本史B一問一答完全版（東進ブックス）</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 守護大名と戦国大名の権力の相違点などについて諸資料から情報を読み取り、戦国時代の大名による領国経営の特徴を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 戦国大名による富国強兵策に着目して領国統治の特色を諸資料から考察し、堺や博多など都市の発展にみられる戦国時代の社会の多様性を表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 15世紀から16世紀にかけて争乱が多発した理由など、戦国時代を中心とする歴史の展開に関わる課題を主体的に追究しようとしている。</p>	○	○	○	4
<p>定期考査</p>			○	○		1
						合計
						210

高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 数学 科目 数学Ⅲ

教科： 数学 科目： 数学Ⅲ 単位数： 4 単位

対象学年組： 第 3 学年 組～ 組

教科担当者： (①：岡崎) (②：岡崎)

使用教科書： (高等学校 数学Ⅲ (数研出版))

教科 数学 の目標：

【知識及び技能】 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明確・的確に表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学Ⅲ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
極限、微分法及び積分法についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数列や関数の値の変化に着目し、極限について考察したり、関数関係をより深く捉えて事象を的確に表現し、数学的に考察する力、いろいろな関数の局所的な性質や大域的な性質に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
A 極限 【知識及び技能】 極限についての概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 数列や関数の値の変化に着目し、極限について考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う	1 分数関数 2 無理関数 3 逆関数と合成関数 4 数列の極限 5 無限等比数列 6 無限級数 7 関数の極限 8 三角関数と極限 9 関数の連続性	【知識・技能】 ①数列の極限について理解し、簡単な数列の極限を求めることができる。 ②無限級数の収束、発散について理解し、無限等比級数などの簡単な無限級数の和を求めることができる。 ③簡単な分数関数と無理関数の値の変化やグラフの特徴について理解することができる。 ④合成関数や逆関数の意味を理解し、簡単な場合についてそれらを求めることができる。 ⑤関数の値の極限について理解することができる。 【思考・判断・表現】 ①式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりして、極限を求める方法を考察することができる。 ②既に学習した関数の性質と関連付けて、簡単な分数関数と無理関数のグラフの特徴を多面的に考察することができる。 ③数列や関数の値の極限に着目し、事象を数学的に捉え、コンピューターなどの情報機器を用いて極限を調べるなどして、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①事象を極限の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしていたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしていたりしている。 ②問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	29
1学期 定期考査			○	○		1
B 微分法 【知識及び技能】 微分法についての概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 関数関係をより深く捉えて事象を的確に表現したり、数学的に考察する力、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	1 微分係数と導関数 2 導関数の計算 3 いろいろな関数の導関数 4 第n次導関数 5 曲線の方程式と導関数 6 接線の方程式 7 平均値の定理 8 関数の値の変化 9 関数のグラフ 10 方程式、不等式への応用 11 速度と加速度 12 近似式	【知識・技能】 ①微分可能性、関数の積及び商の導関数について理解し、関数の和、差、積及び商の導関数を求めることができる。 ②合成関数の導関数について理解し、それを求めることができる。 ③三角関数、指数関数及び対数関数の導関数について理解し、それらを求めることができる。 ④導関数を用いて、いろいろな曲線の接線の方程式を求めたり、いろいろな関数の値の増減、極大・極小、グラフの凹凸など調ベグラフの概形をかいたりすることができる。 【思考・判断・表現】 ①導関数の定義に基づき、三角関数、指数関数及び対数関数の導関数を考察することができる。 ②関数の連続性と微分可能性、関数とその導関数や第二次導関数の関係について考察することができる。 ③関数の局所的な変化や大域的な変化に着目し、事象を数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①事象を微分法を用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしていたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしていたりしている。 ②問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	31

	定期考査					○	○		1
2 学 期	B 微分法 【知識及び技能】 積分法についての概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 いろいろな関数の局所的な性質や大域的な性質に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う	1 不定積分とその基本性質 2 置換積分法と部分積分法 3 いろいろな関数の不定積分 4 定積分とその基本性質 5 置換積分法と部分積分法 6 定積分のいろいろな問題 7 面積 8 体積 9 道のり 10 曲線の長さ	【知識・技能】 ①不定積分及び定積分の基本的な性質についての理解を深め、それらを用いて不定積分や定積分を求めることができる。 ②置換積分法及び部分積分法について理解し、簡単な場合について、それらを用いて不定積分や定積分を求めることができる。 ③定積分を利用して、いろいろな曲線で囲まれた図形の面積や立体の体積及び曲線の長さなどを求めることができる。 【思考・判断・表現】 ①関数の式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりして、いろいろな関数の不定積分や定積分を求める方法について考察することができる。 ②極限や定積分の考えを基に、立体の体積や曲線の長さなどを求める方法について考察することができる。 ③微分と積分との関係に着目し、事象を数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①事象を積分法を用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ②問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。			○	○	○	30
	定期考査					○	○		1
	問題演習	問題演習	問題演習						
	定期考査					○	○		1
3 学 期	問題演習	問題演習	問題演習						
								合計	140

高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 数学 科目 数学C

教科： 数学 科目： 数学C 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 組～ 組

教科担当者： (①： 兼近) (②： 兼近) (③： 田村)

使用教科書： (高等学校 数学C (数研出版))

教科 数学 の目標：

【知識及び技能】 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学C の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
ベクトル、平面上の曲線と複素数平面についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	大きさや向きをもった量に着目し、演算法則やその図形的な意味を考察する力、図形や図形の構造に着目し、それらの性質を統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>A ベクトル</p> <p>【知識及び技能】 ベクトルについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 大きさや向きをもった量に着目し、演算法則やその図形的な意味を考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>	<p>1 ベクトル</p> <p>2 ベクトルの演算</p> <p>3 ベクトルの成分</p> <p>4 ベクトルの内積</p> <p>5 位置ベクトル</p> <p>6 ベクトルの図形への応用</p> <p>7 図形のベクトルによる表示</p> <p>8 空間の点</p> <p>9 空間のベクトル</p> <p>10 ベクトルの成分</p> <p>11 ベクトルの内積</p> <p>12 ベクトルの図形への応用</p> <p>13 座標空間における図形・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>①平面上のベクトルの意味、相等、和、差、実数倍、位置ベクトル、ベクトルの成分表示について理解することができる。</p> <p>②ベクトルの内積及びその基本的な性質について理解することができる。</p> <p>③座標及びベクトルの考えが平面から空間に拡張できることを理解することができる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>①実数などの演算の法則と関連付けて、ベクトルの演算法則を考察することができる。</p> <p>②ベクトルやその内積の基本的な性質などを用いて、平面図形や空間図形の性質を見いだしたり、多面的に考察したりすることができる。</p> <p>③数量や図形及びそれらの関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>①事象をベクトルの考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとし、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとし、粘り強く考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。</p>	○	○	○	32
定期考査			○	○		2
<p>B 平面上の曲線と複素数平面</p> <p>【知識及び技能】 平面上の曲線や複素数平面についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 図形や図形の構造に着目し、それらの性質を統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>	<p>1 複素数平面</p> <p>2 複素数の極形式</p> <p>3 ド・モアブルの定理</p> <p>4 複素数と図形</p> <p>5 放物線</p> <p>6 楕円</p> <p>7 双曲線</p> <p>8 2次曲線の平行移動</p> <p>9 2次曲線と直線</p> <p>10 2次曲線の性質</p> <p>11 曲線の媒介変数表示</p> <p>12 極座標と極方程式</p> <p>13 コンピューターの利用</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>①放物線、楕円、双曲線が二次式で表されることが及びそれらの二次曲線の基本的な性質について理解することができる。</p> <p>②曲線の媒介変数表示について理解することができる。</p> <p>③極座標の意味及び曲線が極方程式で表されることについて理解することができる。</p> <p>④複素数平面と複素数の極形式、複素数の実数倍、和、差、積及び商の図形的な意味を理解することができる。</p> <p>⑤ド・モアブルの定理について理解することができる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>①放物線、楕円、双曲線を相互に関連付けて捉え、考察することができる。</p> <p>②複素数平面における図形の移動などと関連付けて、複素数の演算や累乗根などの意味を考察したりすることができる。</p> <p>③日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、コンピューターなどの情報機器を用いて曲線を表すなどして、媒介変数や極座標および複素数平面の考えを問題解決に活用したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>①事象を平面上の曲線や複素数平面の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとし、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとし、粘り強く考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。</p>	○	○	○	39

3 学 期	定期考査			○	○		2
	問題演習	問題演習	問題演習				
							合計
							70

高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 数学 科目 数学ⅠA演習

教科： 数学 科目： 数学ⅠA演習 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 3 学年 組～ 組

教科担当者： (①：木原) (②：木原)

使用教科書： (高等学校 数学Ⅰ ・ 高等学校 数学A)

教科 数学 の目標：

【知識及び技能】 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学ⅠA演習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数学Ⅰ・Aの分野における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数学Ⅰ・Aの内容を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。	数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
A 数学Ⅰ 基本 【知識及び技能】 数と式、図形と計量、二次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	1 数と式 2 集合と命題 3 2次関数 4 図形と計量 5 データの分析	【知識・技能】 ①数と式の知識及び技能を身に付けることができる。 ②集合と命題の知識及び技能を身に付けることができる。 ③2次関数の知識及び技能を身に付けることができる。 ④図形と計量の知識及び技能を身に付けることができる。 ⑤データの分析の知識及び技能を身に付けることができる。 【思考・判断・表現】 ①数と式の思考力、判断力、表現力等を身に付けることができる。 ②集合と命題の思考力、判断力、表現力等を身に付けることができる。 ③2次関数の思考力、判断力、表現力等を身に付けることができる。 ④図形と計量の思考力、判断力、表現力等を身に付けることができる。 ⑤データの分析の思考力、判断力、表現力等を身に付けることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①事象を数学を用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ②問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	10
B 数学A 基本 【知識及び技能】 図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見だし、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見だし、数理的に考察する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	1 場合の数と確率 2 図形の性質 3 数学と人間の活動	【知識・技能】 ①場合の数と確率の知識及び技能を身に付けることができる。 ②図形の性質の知識及び技能を身に付けることができる。 ③数学と人間の活動の知識及び技能を身に付けることができる。 【思考・判断・表現】 ①場合の数と確率の思考力、判断力、表現力等を身に付けることができる。 ②図形の性質の思考力、判断力、表現力等を身に付けることができる。 ③数学と人間の活動の思考力、判断力、表現力等を身に付けることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①事象を数学を用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ②問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	5

高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 数学 科目 数学ⅡB演習

教科： 数学 科目： 数学ⅡB演習 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 組～ 組

教科担当者： (①：岡崎) (②：岡崎) (③：木原) (④：木原)

使用教科書： (高等学校 数学Ⅱ ・ 高等学校 数学B)

教科 数学 の目標：

【知識及び技能】 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学ⅡB演習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数学Ⅱ・Bの分野における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数学Ⅱ・Bの内容を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。	数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学期	A 数学Ⅱ 基本 【知識及び技能】 いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	1 式と証明 2 複素数と方程式 3 図形と方程式 4 三角関数 5 指数関数と対数関数 6 微分法と積分法	【知識・技能】 ①式と証明の知識及び技能を身に付けることができる。 ②複素数と方程式の知識及び技能を身に付けることができる。 ③図形と方程式の知識及び技能を身に付けることができる。 ④三角関数の知識及び技能を身に付けることができる。 ⑤指数関数及び対数関数の知識及び技能を身に付けることができる。 ⑥微分法と積分法の知識及び技能を身に付けることができる。 【思考・判断・表現】 ①式と証明の思考力、判断力、表現力等を身に付けることができる。 ②複素数と方程式の思考力、判断力、表現力等を身に付けることができる。 ③図形と方程式の思考力、判断力、表現力等を身に付けることができる。 ④三角関数の思考力、判断力、表現力等を身に付けることができる。 ⑤指数関数及び対数関数の思考力、判断力、表現力等を身に付けることができる。 ⑥微分法と積分法の知識及び技能を身に付けることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①事象を数学を用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ②問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	14	
	定期考査				○	○		1
	B 数学B 基本 【知識及び技能】 数列、統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と社会生活の関わりについて認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力、確率分布や標本分布の性質に着目し、母集団の傾向を推測し判断したり、標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力、日常の事象や社会の事象を数学化し、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	1 数列 2 統計的な推測 3 数学と社会生活	【知識・技能】 ①数列の知識及び技能を身に付けることができる。 ②統計的推測の知識及び技能を身に付けることができる。 ③数学と社会生活の知識及び技能を身に付けることができる。 【思考・判断・表現】 ①数列の思考力、判断力、表現力等を身に付けることができる。 ②統計的な推測の思考力、判断力、表現力等を身に付けることができる。 ③数学と社会生活の思考力、判断力、表現力等を身に付けることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①事象を数学を用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ②問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	6	

高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 理科 科目 物理

教科：理科 科目：物理 単位数：4 単位

対象学年組：第 3 学年

教科担当者：（①組：神崎 ）（②組：神崎 ）

使用教科書：（ 数研出版 物理 ）

教科 理科 の目標：

【知識及び技能】学習した物理の基本的な概念や原理・法則が正しく理解している。

【思考力、判断力、表現力等】科学的・論理的に思考し、判断している。

【学びに向かう力、人間性等】物理的な事象・現象に対して主体的に関わり、理解している。

科目 物理 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・ワークシートおよび報告書などの提出物 ・実験やグループ活動での観察 ・生徒の自己評価および生徒相互の評価	・定期考査での論述問題 ・授業中での発問や発表 ・プレゼンテーションの発表内容と発表方法	・授業での学習に対する態度 ・実験やグループ活動での参加する態度 ・ワークシートや報告者、問題集などの提出物

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	○波動（波の性質と音波） 【知識及び技能】 日常生活と関連付けて考えることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 観察、実験などを通して探求し、規則性や関係性を見出して表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	・指導事項 音の基本的な性質 音の反射と屈折 音の干渉 音なり（復習） ドップラー効果（復習） ・教材 教科書、問題集、プリント ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 ・波動の現象についてを日常生活と関連付けて考えることができるようになる。 【思考・判断・表現】 ・波の基本的な性質について、観察、実験を通して探求し、波の表し方や音波における規則性を見出して表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・観察や実験の結果などについて話し合いを行い、積極的に取り組むことができているか。学習内容について主体的に関わり、科学的に探究しようとしているか。	○	○	○	40
	定期考査			○	○		1
	○波動（光波） 【知識及び技能】 日常生活と関連付けて考えることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 観察、実験などを通して探求し、規則性や関係性を見出して表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	・指導事項 光の反射と屈折 レンズと鏡 ヤングの実験 回折格子 干渉（薄膜、くさび形、ニュートンリング） ・教材 教科書、問題集、プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・波動の現象についてを日常生活と関連付けて考えることができるようになる。 【思考・判断・表現】 ・波の基本的な性質について、観察、実験を通して探求し、波の表し方や音波における規則性を見出して表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・観察や実験の結果などについて話し合いを行い、積極的に取り組むことができているか。学習内容について主体的に関わり、科学的に探究しようとしているか。	○	○	○	21
定期考査			○	○		1	
2 学 期	○熱と気体 【知識及び技能】 日常生活と関連付けて考えることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 観察、実験などを通して探求し、規則性や関係性を見出して表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	・指導事項 ボイル・シャルルの法則 気体の状態方程式 気体分子運動論 熱力学第一法則 気体の状態変化 ・教材 教科書、問題集、プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・熱エネルギーを日常生活と関連付けて考えることができるようになる。 【思考・判断・表現】 ・熱と気体について、観察、実験を通して探求し、規則性や関係性を見出して表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・観察や実験の結果などについて話し合いを行い、積極的に取り組むことができているか。学習内容について主体的に関わり、科学的に探究しようとしているか。	○	○	○	45
	定期考査			○	○		1
	○原子 【知識及び技能】 日常生活と関連付けて考えることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 観察、実験などを通して探求し、規則性や関係性を見出して表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	・指導事項 電子の比電荷の測定 光子量子仮説 X線の粒子性とコンプトン効果 ラザフォードの原子模型 原子核の構成（同位体） 核反応 ・教材 教科書、問題集、プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・電子のエネルギー準位について、原子モデルを参考に理解する。 ・スペクトルなどについて、観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考・判断・表現】 ・電子について、観察、実験を通して探求し、現象の規則性や関係性を見出して表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・観察や実験の結果などについて話し合いを行い、積極的に取り組むことができているか。学習内容について主体的に関わり、科学的に探究しようとしているか。	○	○	○	30
定期考査			○	○		1	
3 学 期							

高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 理科 科目 化学演習

教科：理科 科目：化学演習 単位数：6 単位

対象学年組：第3学年 選択

教科担当者：

使用教科書：（東京書籍 化学 2東書化学701・702）

教科 理科 の目標：

【知識及び技能】化学が果たす役割について、理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】化学が果たす役割について、観察、実験などを通して探究し、見いだして表現する。

【学びに向かう力、人間性等】化学が果たす役割に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 化学演習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
化学が果たす役割についての実験などを通して、その基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技術を身に付けている。	化学が果たす役割について、問題を見いだし見直しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。	化学が果たす役割について主体的に関わり、見直しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	E 単元 化学反応と熱・光 【知識及び技能】化学反応とエネルギーについて、化学反応と熱・光のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】化学反応とエネルギーについて、観察、実験などを通して探究し、化学反応と熱・光について見いだして表現する。 【学びに向かう力、人間性等】化学反応と熱・光に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	・指導事項 反応とエンタルピー変化 ヘスの法則 光とエネルギー ・教材 セミナー（問題集） 重要問題集 サイエンスビュー（図説） ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】化学反応とエネルギーについての実験などを通して、化学反応と熱・光の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】化学反応と熱・光について、問題を見いだし見直しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】化学反応と熱・光について主体的に関わり、見直しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	18
	F 単元 化学反応と熱・光 【知識及び技能】化学反応とエネルギーについて、化学反応と熱・光のことを理解し、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】化学反応とエネルギーについて、観察、実験などを通して探究し、化学反応と熱・光について見いだして表現する。 【学びに向かう力、人間性等】化学反応と熱・光に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。 定期考査	・指導事項 ・教材 セミナー（問題集） 重要問題集 サイエンスビュー（図説） ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】化学反応とエネルギーについての実験などを通して、化学反応と熱・光の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】化学反応と熱・光について、問題を見いだし見直しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】化学反応と熱・光について主体的に関わり、見直しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	24
	H 単元 化学平衡 【知識及び技能】化学反応と化学平衡について、化学平衡とその移動を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】化学反応と化学平衡について、観察、実験などを通して探究し、化学平衡とその移動について見いだして表現する。 【学びに向かう力、人間性等】化学平衡とその移動に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	・指導事項 可逆反応と化学平衡 平衡の移動 ・教材 セミナー（問題集） 重要問題集 サイエンスビュー（図説） ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】化学反応と化学平衡についての実験などを通して、化学平衡とその移動の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】化学平衡とその移動について、問題を見いだし見直しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】化学平衡とその移動について主体的に関わり、見直しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	14
	I 単元 水溶液中の化学平衡 【知識及び技能】化学反応と化学平衡について、電離平衡のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】化学反応と化学平衡について、観察、実験などを通して探究し、電離平衡に	・指導事項 ・教材 セミナー（問題集） 重要問題集 サイエンスビュー（図説） ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】化学反応と化学平衡についての実験などを通して、電離平衡の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】電離平衡について、問題を見いだし見直しをもって実験などを行				

	<p>ついて見いだして表現する。 【学びに向かう力、人間性等】電離平衡について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>		<p>い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】電離平衡について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>	○	○	○	36
	定期考査			○	○		1
	<p>0単元 有機化合物の特徴と構造 【知識及び技能】有機化合物について、理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。【思考力、判断力、表現力等】有機化合物について、観察、実験などを通して探究し、見いだして表現する。【学びに向かう力、人間性等】有機化合物に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・指導事項 有機化合物の特徴 有機化合物の構造式の決定 ・教材 セミナー（問題集） 重要問題集 サイエンスビュー（図説） ・一人1台端末の活用 等 	<p>【知識・技能】有機化合物についての実験などを通して、その基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】有機化合物について、問題を見いだし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】有機化合物について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>	○	○		12
	<p>P単元 炭化水素 【知識及び技能】有機化合物について、炭化水素のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】有機化合物について、観察、実験などを通して探究し、炭化水素について見いだして表現する。 【学びに向かう力、人間性等】炭化水素に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・指導事項 飽和炭化水素 不飽和炭化水素 ・教材 セミナー（問題集） 重要問題集 サイエンスビュー（図説） ・一人1台端末の活用 等 	<p>【知識・技能】有機化合物についての実験などを通して、炭化水素の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】炭化水素について、問題を見いだし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】炭化水素について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>	○	○	○	12
	<p>Q 単元 アルコールと関連化合物 【知識及び技能】有機化合物について、官能基をもつ化合物のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】有機化合物について、観察、実験などを通して探究し、官能基をもつ化合物について見いだして表現する。 【学びに向かう力、人間性等】官能基をもつ化合物に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・指導事項 アルコールとエーテル アルデヒドとケトン カルボン酸 エステル・油脂・せっけん ・教材 セミナー（問題集） 重要問題集 サイエンスビュー（図説） ・一人1台端末の活用 等 	<p>【知識・技能】有機化合物についての実験などを通して、官能基をもつ化合物の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】官能基をもつ化合物について、問題を見いだし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】官能基をもつ化合物について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
2 学 期	<p>R 単元 芳香族化合物 【知識及び技能】有機化合物について、芳香族化合物のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】有機化合物について、観察、実験などを通して探究し、芳香族化合物について見いだして表現する。 【学びに向かう力、人間性等】芳香族化合物に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・指導事項 芳香族炭化水素 フェノール類と芳香族カルボン酸 芳香族アミンとアゾ化合物 芳香族化合物の分離 ・教材 セミナー（問題集） 重要問題集 サイエンスビュー（図説） ・一人1台端末の活用 等 	<p>【知識・技能】有機化合物についての実験などを通して、芳香族化合物の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】芳香族化合物について、問題を見いだし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】芳香族化合物について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>	○	○	○	18
	<p>S単元高分子化合物とは何か 【知識及び技能】高分子化合物につ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・指導事項 高分子化合物の分類と特徴 	<p>【知識及び技能】高分子化合物についての実験などを通して、天然高分子化合物の基本的</p>				

	<p>いて、理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】高分子化合物について、観察、実験などを通して探究し、見いだして表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】高分子化合物に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 教材 セミナー（問題集）重要問題集 サイエンスビュー（図説） 一人1台端末の活用 等 	<p>な概念や原理・原則などを理解するとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技術を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】天然高分子化合物について、問題を見いだし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】天然高分子化合物について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>	○	○	○	10
	<p>T 単元 天然高分子化合物</p> <p>【知識及び技能】高分子化合物について、天然高分子化合物のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】高分子化合物について、観察、実験などを通して探究し、天然高分子化合物について見いだして表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】天然高分子化合物に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 指導事項 単糖類と二糖類 多糖類 アミノ酸 タンパク質 教材 セミナー（問題集）重要問題集 サイエンスビュー（図説） 一人1台端末の活用 等 	<p>【知識・技能】高分子化合物についての実験などを通して、天然高分子化合物の基本的な概念や原理・原則などを理解するとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技術を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】天然高分子化合物について、問題を見いだし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】天然高分子化合物について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>	○	○		12
	<p>U 単元 合成高分子化合物</p> <p>【知識及び技能】高分子化合物について、合成高分子化合物のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】高分子化合物について、観察、実験などを通して探究し、合成高分子化合物について見いだして表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】合成高分子化合物に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 指導事項 合成繊維 合成樹脂 ゴム 教材 セミナー（問題集）重要問題集 サイエンスビュー（図説） 一人1台端末の活用 等 	<p>【知識・技能】高分子化合物についての実験などを通して、合成高分子化合物の基本的な概念や原理・原則などを理解するとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技術を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】合成高分子化合物について、問題を見いだし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】合成高分子化合物について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
3 学 期	<p>共通テスト</p> <p>私大 学力検査</p> <p>国公立二次 学力検査に対応できる力をつけるための問題演習を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 指導事項 化学全般にわたる 教材 セミナー（問題集）サイエンスビュー（図説） 一人1台端末の活用 等 	<p>【知識・技能】科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技術を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】科学的に探究している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】化学反応と熱・光について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>				28
				○	○		合計
				○	○		210

高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 理科 科目 生物演習

教科：理科 科目：生物演習 単位数：6 単位

対象学年組：第3学年 選択（A～H組）

教科担当者：藤山 悠太郎

使用教科書：（数研出版 生物 104数研生物704）

教科 理科 の目標：

【知識及び技能】生物の共通性と多様性、構造と機能について理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】生物の共通性と多様性、構造と機能について観察、実験などを通して探求し、見出して表現する。

【学びに向かう力、人間性等】生物の共通性と多様性、構造と機能に関する事象・現象に主体的に関わり、科学的に探求しようとする態度を養う。

科目 生物演習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生物の共通性と多様性、構造と機能についての実験などを通して、その基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技術を身に付けている。	生物の共通性と多様性、構造と機能について、問題を見いだし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。	生物の共通性と多様性、構造と機能について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態			配当 時数
1 学 期	A 単元 代謝 【知識及び技能】呼吸や光合成などの代謝についての理解とともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】光合成や呼吸などの代謝について、観察、実験などを通して探究し、	・指導事項 異化 同化 ・教材 セミナー（問題集） スクエア（図説） ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】呼吸や光合成などの代謝についての理解とともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】光合成や呼吸などの代謝について、問題を見いだし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。	○	○	○	20
	B 単元 遺伝情報の発現と発生 【知識及び技能】DNAの構造から複製、タンパク質合成、遺伝情報の発現、生殖と発生について理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】DNAの構造から複製、タンパク質合	・指導事項 遺伝情報の発現 発生 バイオテクノロジー ・教材 セミナー（問題集） スクエア（図説） ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】DNAの構造から複製、タンパク質合成、遺伝情報の発現、生殖と発生などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】DNAの構造から複製、タンパク質合成、遺伝情報の発現、生殖と発生について、問題を見いだし見通しをもって	○	○	○	30
	定期考査			○	○		1
2 学 期	C 単元 生物の環境応答 【知識及び技能】動物の反応と行動や植物の環境応答から、生物の構造と機能について理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】動物の反応と行動や植物の環境応	・指導事項 動物の反応と行動 植物の環境応答 ・教材 セミナー（問題集） スクエア（図説） ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】動物や植物の構造と機能について理解するとともに、科学的に探究するために必要な資料などを利用して理解を深めている。 【思考・判断・表現】動物の反応と行動や植物の環境応答について、実験・動画や図説などを通して見通しをもって資料の活用などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科	○	○	○	50
	定期考査			○	○		1
	E 単元 生物群集と生態系 【知識及び技能】生物群集と生態系について理解するとともに、個体群内や異なる種の個体群間の関係、生態系と物質生産と物質循環、人間生活と生態系について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】生	・指導事項 個体群内の構造と性質 個体群内個体群間の関係 生態系と物質生産と物質循環 生態系と人間生活 ・教材 セミナー（問題集） スクエア（図説）	【知識・技能】生物群集と生態系についての理解とともに、個体群内や異なる種の個体群間の関係、生態系と物質生産と物質循環、人間生活と生態系についての理解と科学的に探究するために必要な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】生物群集と生態系について理解し、問題を見いだし科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。	○	○	○	35
2 学 期	F 単元 生物の進化 【知識及び技能】生命の起源および生物の変遷と進化のしくみ、分子進化や種概念と分類から生物の多様性を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】進化・系統について、動画や図説などを通して探究し、系統や生	・指導事項 細胞とDNAの複製 生物の進化の変遷 生物の分類と系統 ・教材 セミナー（問題集） スクエア（図説） ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】生命の起源および生物の変遷と進化のしくみ、分子進化や種概念と分類から生物の多様性を理解しているとともに、科学的に探究するために必要な資料などを利用して理解を深めている。 【思考・判断・表現】進化・系統についてその共通性と多様性を見いだし見通しをもって資料の活用などを行い、科学的に考察し表現	○	○	○	20
	G 単元 細胞と分子 【知識及び技能】細胞と分子について理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】細胞と分子について、観察、実験などを通して探究し、生命活動との関	・指導事項 生体物質と細胞 タンパク質の構造と性質 酵素 細胞膜とタンパク質 ・教材 セミナー（問題集） スクエア（図説） ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】細胞と分子について理解するとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】細胞と分子について、問題を見いだし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。	○	○	○	20
	定期考査			○	○		1
	ABCDEF 単元 総合演習	・指導事項 「生物」の全範囲の演習 ・教材 XAM 総合問題 スクエア（図説） ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】生物の進化、生命現象と物質、遺伝情報の発現と発生、生物の環境応答。生態と環境を理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などを通じた問題演習の技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】生物の進化、生命現象と物質、遺伝情報の発現と発生、生物の環境応答。生態と環境について、問題を見いだし	○	○	○	31
	定期考査			○	○		1

高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 保健体育 科目 体育

教科：保健体育 科目：体育 単位数：3 単位

対象学年組：第3学年 A組～H組

教科担当者：（A組～H組 倉口・脇山・石塚・坂本・西田・橋本

使用教科書：（新 高等保健体育 ）

教科 保健体育 の目標：

- 【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 体育 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態			配当 時数
				知	思	態	
1 学 期	A 体育理論 【知識及び技能】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組むこと。	スポーツの歴史的発展と多様な変化 現代のスポーツの意義や価値 スポーツの経済的効果と高潔さ スポーツが環境や社会にもたらす影響	【知識及び技能】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組もうとしている。	○	○	○	3
	D 球技 【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保すること。	ネット型 バレーボール ベースボール型 ソフトボール	【知識・技能】 技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。ネット型では、役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。ベースボール型では、安定したバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と連携した守備などによって攻防をすることができる。 【思考・判断・表現】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。	○	○	○	20

<p>E 水泳</p> <p>【知識及び技能】記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、効率的に泳ぐこと。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】水泳に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする事、自己の責任を果たそうとする事、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする事などや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保することができるようにする。</p>	<p>水慣れ クロール 平泳ぎ スタート タイム測定</p>	<p>【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。クロールでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすることができる。平泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】水泳に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする事、自己の責任を果たそうとする事、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする事などをしたり、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保したりしている。</p>	○	○	○	6
---	--	--	---	---	---	---

2 学 期	A 体育理論 【知識及び技能】スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組むこと。	スポーツの歴史的発展と多様な変化 現代のスポーツの意義や価値 スポーツの経済的効果と高潔さ スポーツが環境や社会にもたらす影響	【知識及び技能】スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組もうとしている。	○	○	○	3
	B 球技 【知識及び技能】勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。 【思考力、判断力、表現力等】攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする事、作戦などについての話し合いに貢献しようとする事、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする事、互いに助け合い教え合おうとする事などや、健康・安全を確保すること。	ネット型 バレーボール ベースボール型 ソフトボール ゴール型	【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。ネット型では、役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。ベースボール型では、安定したバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と連携した守備などによって攻防をすることができる。ゴール型では、安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができる。 【思考・判断・表現】攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする事、作戦などについての話し合いに貢献しようとする事、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする事、互いに助け合い教え合おうとする事などをしたり、健康・安全を確保したりしている。	○	○	○	25
	C 水泳 【知識及び技能】記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、効率的に泳ぐこと。 【思考力、判断力、表現力等】泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】水泳に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする事、自己の責任を果たそうとする事、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする事などや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保することができるようにする。	個人メドレー タイム測定	【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。クロールでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすることができる。平泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすることができる。 【思考・判断・表現】泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】水泳に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする事、自己の責任を果たそうとする事、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする事などをしたり、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保したりしている。	○	○	○	12
	B 球技 【知識及び技能】勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。 【思考力、判断力、表現力等】攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする事、作戦などについての話し合いに貢献しようとする事、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする事、互いに助け合い教え合おうとする事などや、健康・安全を確保すること。	ネット型 バレーボール ベースボール型 ソフトボール ゴール型	【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。ネット型では、役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。ベースボール型では、安定したバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と連携した守備などによって攻防をすることができる。ゴール型では、安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができる。 【思考・判断・表現】攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする事、作戦などについての話し合いに貢献しようとする事、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする事、互いに助け合い教え合おうとする事などをしたり、健康・安全を確保したりしている。	○	○	○	25

3 学 期	B 球技 【知識及び技能】勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。 【思考力、判断力、表現力等】攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする事、作戦などについての話合いに貢献しようとする事、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする事、互いに助け合い教え合おうとする事などや、健康・安全を確保すること。	ネット型 バレーボール ベースボール型 ソフトボール ゴール型	【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。ネット型では、役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。ベースボール型では、安定したバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と連携した守備などによって攻防をすることができる。ゴール型では、安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができる。 【思考・判断・表現】攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする事、作戦などについての話合いに貢献しようとする事、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする事、互いに助け合い教え合おうとする事などをしたり、健康・安全を確保したりしている。	○	○	○	11

高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 保健体育 科目 スポーツ探究

教科： 保健体育 科目： スポーツ探究 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 3 学年 A 組～ H 組

教科担当者： (A組～H組 石塚・橋本)

使用教科書： (新 高等保健体育)

教科 保健体育

の目標：

- 【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、他の生徒に指導でき、示範できるような技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力あふれる生活を営む態度を養う。主体的に運動に取り組み、より深く運動について学ぼうとする意欲・態度を醸成できるようにする。

科目 スポーツ探究

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	C 陸上競技 【知識及び技能】記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、各種目特有の技能身に付けることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする事、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする事などや、健康・安全を確保することができるようにする。	短距離走・リレー ハードル 2名1組で編成した指導役が毎時、指導案を作成し、種目の指導に当たる。 指導案の修正や、教え方・伝え方を事前に話し合い、効果的な指導法を学ぶ。	【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などについて理解している。ハードル走では、スピードを維持した走りからハードルを低くリズムカルに越すことができる。短距離走・リレーでは、体の真下近くに足を接地したり、キックした足を素早く前に運んだりするなどの動きで走ることができるようにする。また、最も速く走ることのできるペース配分に応じて動きを切り替えて走ることや、リレーでは、大きな利得距離を得るために、両走者がスピードにのり、十分に腕を伸ばした状態でバトンを渡すことができるようにする。 【思考・判断・表現】生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】陸上競技に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする事、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする事などをしたり、健康・安全を確保したりしている。	○	○	○	10
	D 水泳 【知識及び技能】記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、効率的に泳ぐこと。 【思考力、判断力、表現力等】泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】水泳に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする事、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする事などや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保することができるようにする。	4泳法 個人メドレー タイム測定 2名1組で編成した指導役が毎時、指導案を作成し、種目の指導に当たる。 指導案の修正や、教え方・伝え方を事前に話し合い、効果的な指導法を学ぶ。	【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。クロールでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすることができる。平泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすることができる。 【思考・判断・表現】泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】水泳に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする事、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする事などをしたり、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保したりしている。	○	○	○	12
	D 水泳	4泳法	【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の				

2 学期

<p>【知識及び技能】記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、効率的に泳ぐこと。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】水泳に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする事、自己の責任を果たそうとする事、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする事などや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保することができるようにする。</p>	<p>個人メドレー タイム測定</p> <p>2名1組で編成した指導役が毎時、指導案を作成し、種目の指導に当たる。</p> <p>指導案の修正や、教え方・伝え方等を事前に話し合い、効果的な指導法を学ぶ。</p>	<p>高め方、運動観察の方法などについて理解している。クロールでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすることができる。平泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】水泳に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする事、自己の責任を果たそうとする事、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする事などをしたり、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保したりしている。</p>	○	○	○	8
---	---	--	---	---	---	---

<p>E球技</p> <p>【知識及び技能】勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする事、作戦などについての話し合いに貢献しようとする事、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする事、互いに助け合い教え合おうとする事などや、健康・安全を確保すること。</p>	<p>○ネット型 バレーボール、バドミントン、卓球、テニス</p> <p>○ベースボール型 ソフトボール</p> <p>○ゴール型 サッカー、ハンドボール、バスケットボール</p> <p>2名1組で編成した指導役が毎時、指導案を作成し、種目の指導に当たる。</p> <p>指導案の修正や、教え方・伝え方等を事前に話し合い、効果的な指導法を学ぶ。</p>	<p>【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。ネット型では、役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。ベースボール型では、安定したバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と連携した守備などによって攻防をすることができる。ゴール型では、安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする事、作戦などについての話し合いに貢献しようとする事、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする事、互いに助け合い教え合おうとする事などをしたり、健康・安全を確保したりしている。</p>	○	○	○	22
--	--	--	---	---	---	----

<p>E球技</p> <p>【知識及び技能】勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする事、作戦などについての話し合いに貢献しようとする事、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする事、互いに助け合い教え合おうとする事などや、健康・安全を確保すること。</p>	<p>○ネット型 バレーボール、バドミントン、卓球、テニス</p> <p>○ベースボール型 ソフトボール</p> <p>○ゴール型 サッカー、ハンドボール、バスケットボール</p> <p>2名1組で編成した指導役が毎時、指導案を作成し、種目の指導に当たる。</p> <p>指導案の修正や、教え方・伝え方等を事前に話し合い、効果的な指導法を学ぶ。</p>	<p>【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。ネット型では、役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。ベースボール型では、安定したバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と連携した守備などによって攻防をすることができる。ゴール型では、安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする事、作戦などについての話し合いに貢献しようとする事、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする事、互いに助け合い教え合おうとする事などをしたり、健康・安全を確保したりしている。</p>	○	○	○	18
--	--	--	---	---	---	----

3 学期

						合計 70
--	--	--	--	--	--	----------

高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 芸術 科目 美術Ⅲ

教科：芸術 科目：美術Ⅲ 単位数：2 単位

対象学年組：第3学年 A.B.C.E 組

教科担当者：(A組：田尻) (B組：田尻) (C組：田尻) (E組：田尻)

使用教科書：()

教科 芸術 の目標：

【知識及び技能】芸術に関する美術の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に着けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることが出来るようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 美術Ⅲ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を追求し、個性を生かして創造的に表すことができるようにする。	造形的なよさや美しさ、独自の表現の意図と創造的な工夫、美術の動きなどについて考え、主題を生成し個性を生かして発想し構想を練ったり、自己の価値観を働かせて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする	主体的に美術の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性と美意識を磨き、美術文化を尊重し、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数	
		絵 ・ 彫	デ 映								
A 単元表現・鑑賞/絵画 【知識及び技能】 ポーズを構成している身体の軸と重心を把握し、プロポーションを捉える。線や明暗による表現の効果、全体のイメージなどを捉え、鉛筆などの特性を生かし表現方法を創意工夫して表す。 作品を描いて得たものを、2分間で100文字以上に感想をまとめプレゼンを行う。 【思考力、判断力、表現力等】 対象から感じ取った印象などを基に、線や明暗による表現の効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。 【学びに向かう力、人間性等】 線や明暗による表現の効果を考え、工夫して表す創造活動に、主体的に取り組む。	○年間を通じて授業初めに、人物クロッキーを行い、ポーズを構成している身体の軸と重心を把握し、人体のプロポーション、ムーブマンを捉え、線と明暗で表現する。 5～10分クロッキー 教材 クロッキーブック 6B鉛筆 一人一台端末の活用 等	○			○	【知識・技能】 知「身体の軸と重心を把握しムーブマンを捉え、ポーズの特徴を表す。線や明暗による表現の効果、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。 「技」意図に応じて鉛筆などの特性や効果を生かし表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表している。 【思考・判断・表現】 「発」対象から感じ取った印象などを基に、線や明暗による表現の効果考えたことなどから主題を生成し、個性豊かで創造的な表現の構想を練っている。 「鑑」造形的なよさや美しさを感じ取り、発想や構想の独自性と表現の工夫などについて多様な視点から考え、見方や感じ方を深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 「態表」線や明暗による表現の効果を考え、工夫して表す創造的な諸活動に、主体的に取り組もうとしている。 「態鑑」作品に表された線や明暗による表現の効果などを見つめ、見方や感じ方を深める鑑賞の創造的な諸活動に、主体的に取り組もうとしている。					6
B単元 表現・鑑賞/陶芸 電動ろくろを用いて (ワクワクする食器制作) 【知識及び技能】 電動ろくろの使い方から制作までのテクニックを把握し、粘土の特性を理解して重心やバランスを考えて大きさと機能性、使いやすさも考慮して意図に応じて思い通りの形体ではなく表現方法を創意工夫して表す。 【思考力、判断力、表現力等】 造形的なよさや美しさを考え創造的な表現の構造を練ったり鑑賞したりする。 【学びに向かう力、人間性等】 粘土の特性を生かして作成する。ユニークな食器の表現方法の工夫などを紹介し合うことによって、お互いの創造力や独創性を感じ取る。また、見方や感じ方を深める表現や鑑賞の創造的な諸活動に主体的に取り組む。	○信楽の赤土を用いて、電動ろくろによるデザイン性にとんだワクワクするような食器を制作する。 蓋つきでも良い。 クロッキーブック 6B 信楽の赤土 陶芸道具 一人一台端末の活用 等	○			○	【知識・技能】 電動ろくろを用いての制作のため菊練りから水引きなど作品に取り組む前段階のテクニックをマスターしたうえで制作に取り組む。陶芸の粘土の特性に応じて重心やバランスを考えながら創意工夫し、高台を削り、釉薬の働きを理解して焼成後を見通して施釉をする。 【思考・判断・表現】 ワクワクする食器を考え表現の構想を練って取り組み、機能性を考慮しながら個性豊かで創造的に表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 素焼き、本焼きを経た粘度の良さや美しさを感じ取る。造形を通して独創的でデザイン性に富んだユニークな表現を工夫して行い、立体を表す表現の創造的な諸活動に主体的に取り組もうとしている。					20
C 単元表現・鑑賞/絵画 身近な風景 【知識及び技能】 風景を切り取ることで生じる効果、全体のイメージなどを捉える。 あきべーじをつくり、自分なりの切り取り方を工夫し、校内外の風景	風景を切り取ることで生じる効果に気づきその効果によってつくられる空間や風景のよさや美しさについて考えることを理解させる。 ・校内外の気に入った風景写真 ・ケント紙 ・折り紙、色画用紙	○			○	【知識・技能】 風景を切り取ることで生じる効果、全体のイメージなどを捉えることを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 切り取られた風景の効果や、それによってつくられる空間や風景のよさや美しさについて考え、見方や感じ方を深める。					

高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 芸術 科目 演奏基礎

教科：芸術 科目：演奏基礎 単位数：2 単位
 対象学年組：第3学年 組～組
 教科担当者：（組：戸田）（組： ）（組： ）（組： ）（組： ）（組： ）
 使用教科書：（ ）

教科 芸術 の目標：
 【知識及び技能】芸術に関する特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。
 【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。
 【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い

科目 演奏基礎	の目標：
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】
演奏における多様性について理解を深めるとともに、演奏をするために必要な技能を身に付ける。	音楽の様式を踏まえた演奏に関する思考力、判断力、表現力等を育成する。
	【学びに向かう力、人間性等】
	音楽作品を尊重して演奏したり鑑賞したりする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		歌	器	創						
音楽理論基礎 【知識及び技能】 音楽に関する基礎的な理論について理解するとともに、理解したことを楽譜によって表す技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 音楽理論を表現や鑑賞の学習に活用する思考力、判断力、表現力等を育成する。 【学びに向かう力、人間性等】 音楽理論を表現や鑑賞に生かそうとする態度を養う。	使用教材：改訂音楽通論	○	○			【知識及び技能】 音楽に関する基礎的な理論について理解するとともに、理解したことを楽譜によって表す技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 音楽理論を表現や鑑賞の学習に活用する思考力、判断力、表現力等を育んでいる。 【学びに向かう力、人間性等】 音楽理論を表現や鑑賞に生かそうとしている。	○	○	○	4
ソルフェージュ基礎 【知識及び技能】 視唱、視奏に関する知識や技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 音楽を形づくっている要素の働きやその効果などに関する思考力、判断力、表現力等を育成する。 【学びに向かう力、人間性等】 音楽性豊かな水原をするための基礎となる学習を大切にすることを養う。	使用教材：改訂版 コール・ユール・ブンゲン（全曲版）	○				【知識及び技能】 視唱、視奏に関する知識や技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 音楽を形づくっている要素の働きやその効果などに関する思考力、判断力、表現力等を育んでいる。 【学びに向かう力、人間性等】 音楽性豊かな水原をするための基礎となる学習を大切にしようとしている。	○	○	○	6
1 学期 キーボード演奏法 【知識及び技能】 楽曲の表現内容について理解を深めるとともに、創造的に器楽表現するために必要な技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 音楽作品や演奏について、根拠を明確にして批評することができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 音楽や音楽文化を尊重する態度を養う。	適宜教材を用いて行う。	○		○		【知識及び技能】 楽曲の表現内容について理解を深めるとともに、創造的に器楽表現するために必要な技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 音楽作品や演奏について、根拠を明確にして批評することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 音楽や音楽文化を尊重しようとしている。	○	○	○	6
合唱基礎 【知識及び技能】 楽曲の表現内容について理解を深めるとともに、創造的に過小表現するために必要な技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 音楽性豊かな表現について考え、表現意図を明確にもつことができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 音楽性豊かな表現を追求する態度を養う。	適宜教材を用いて行う。	○	○	○		【知識及び技能】 楽曲の表現内容について理解を深めるとともに、創造的に過小表現するために必要な技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 音楽性豊かな表現について考え、表現意図を明確にもつことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 音楽性豊かな表現を追求しようとしている。	○	○	○	6
音楽理論基礎 【知識及び技能】 音楽に関する基礎的な理論について理解するとともに、理解したことを楽譜によって表す技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 音楽理論を表現や鑑賞の学習に活用する思考力、判断力、表現力等を育成する。 【学びに向かう力、人間性等】 音楽理論を表現や鑑賞に生かそうとする態度を養う。	使用教材：改訂音楽通論	○	○			【知識及び技能】 音楽に関する基礎的な理論について理解するとともに、理解したことを楽譜によって表す技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 音楽理論を表現や鑑賞の学習に活用する思考力、判断力、表現力等を育んでいる。 【学びに向かう力、人間性等】 音楽理論を表現や鑑賞に生かそうとしている。	○	○	○	6
ソルフェージュ基礎	使用教材：改訂版 コール・					【知識及び技能】				

高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 芸術 科目 素描基礎

教科：芸術 科目：素描基礎 単位数：2 単位

対象学年組：第 3 学年 A, B, C, E 組

教科担当者：(A組：田尻) (B組：田尻) (C組：田尻) (E組：田尻)

使用教科書：()

教科 芸術 の目標：

【知識及び技能】 芸術に関する美術の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に着けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることが出来るようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 素描基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を追求し、個性を生かして創造的に表すことができるようにする。	造形的なよさや美しさ、独自の表現の意図と創造的な工夫、美術の動きなどについて考え、主題を生成し個性を生かして発想し構想を練ったり、自己の価値観を動かして美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする	主体的に美術の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性と美意識を磨き、美術文化を尊重し、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		絵 形	デ 映							
A 単元 表現・鑑賞/絵画 クロッキー 【知識及び技能】 造形要素の働きとして、明暗を正しく描くことによって質感や立体感が表現できることを理解する。また、各部分と描かない部分に差をつけ、鉛筆及び白黒の色鉛筆などの特性を生かして創造的に描く。 「技」意図に応じて材料や用具の特性を生かし表現方法を工夫する。作品を描いて得たものを、2分間で100文字以上に感想をまとめプレゼンを行う。 【思考力、判断力、表現力等】 モチーフとデッサンを見比べることで形や明暗の違いや客観的に判断し、「見る」と「描く」の比率を7対3とし、ものをじっくり見て描くプロセスによって構想を練ったり鑑賞したりする。 【学びに向かう力、人間性等】 他の生徒の作品を鑑賞し、自己の制作プロセスの繰り返しを通じて、次への制作意欲と関心を高め、見方や感じ方を深める創造活動に主体的に取り組もうとする。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 一年間を通じて授業初めに、身近なものを見つめなおし描く方法や言葉によるイメージを創意工夫して表す。 5分間～10分クロッキー 教材 クロッキーブック M画用紙・ケント紙 6H～6B鉛筆 等 ・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用	○			○	【知識・技能】 「知」形や色彩、明暗、質感などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、身近なものの特徴や美しさなどを全体のイメージで捉えることを理解している。 モチーフの光の関係性を把握し、質感や立体感などの表現すべきポイントを理解している。 ハイライトデッサンの技法を理解し、鉛筆や色鉛筆の特性を生かして創造的に描いている。また、線の強弱など表現方法を創意工夫して表現している。 【思考・判断・表現】 「発」身近なものの特徴や美しさなどを観察し、感じ取ったことや考えたことなどから主題を生成し、表現形式の特性を生かし、形や色彩、質感などを考え、創造的な構想を練っている。 「鑑」友達の作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 他の生徒の作品を鑑賞し、プロセスを振り返ることで造形的な良さや美しさを感じ取り、次の制作につなげる意欲と感心を高める鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。	○	○	○	6
1 学 期 B 単元 表現・鑑賞/絵画 花を描く 【知識及び技能】 形や構造、色彩効果、植物の生命力や全体のイメージなどを捉え、色鉛筆の特性を生かして表す。 【思考力、判断力、表現力等】 植物の印象などを基に、視点や構図などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。 【学びに向かう力、人間性等】 植物の生命力などを絵画に表す創造活動に、主体的に取り組む。	・指導事項 構図や画面の形を工夫して、花の魅力表現することを理解させる。 ・教材 ・一人1台端末の活用 ・2B鉛筆 ・色鉛筆 ・ケント紙	○			○	【知識・技能】 「知」植物の形体や構造、質感、色彩などの性質や造形的な特徴、感情にもたらす効果などを基に、生命力などを全体のイメージで捉えることを理解している。 「技」意図に応じて色鉛筆の特性や効果を生かすとともに表現方法を創意工夫し、主題を追求して創造的に表している。 【思考・判断・表現】 「発」植物の特徴や美しさなどを深く観察し、感じ取ったことや考えたことなどから主題を生成し、形体や構造、色彩、質感などを考え、創造的な構想を練っている。 「鑑」友達の作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 他の生徒の作品を鑑賞し、プロセスを振り返ることで造形的な良さや美しさを感じ取り、次の制作につなげる意欲と感心を高める鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。	○	○	○	8
C 単元 表現・鑑賞/絵画 静物デッサン（基礎から応用まで） 【知識及び技能】 形や鉛筆の色合い、明暗、質感などの効果、全体のイメージなどを捉え、線の強弱や鉛筆の6H～6Bまでの特性を生かして表す。	指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 ・M画用紙 ・ケント紙 ・6H～6B鉛筆 等					【知識・技能】 「知」形や色彩、明暗、質感などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、モチーフの特徴や美しさなどを全体のイメージで捉えることを理解している。 モチーフの光の関係性を把握し、質感や立体感などの表現すべきポイントを理解している。				

	<p>【思考力、判断力、表現力等】モチーフの特徴や美しさなどを基に、形や濃淡、質感などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】モチーフの特徴や美しさなどを捉えて表す創造活動に、主体的にとらえる。</p>	○	○	<p>る。ハイライトデッサンの技法を理解し、6H～6Bの鉛筆の特性を生かして創造的に描いている。また、線の強弱など表現方法を創意工夫して表現している。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>「発」モチーフの特徴や美しさなどを観察し、感じ取ったことや考えたことなどから主題を生成し、表現形式の特性を生かし、形や濃淡、質感などを考え、創造的な構想を練っている。</p> <p>「鑑」友達の作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>他の生徒の作品を鑑賞し、プロセスを振り返ることで造形的なよさや美しさを感じ取り、次の制作につなげる意欲と感心を高める鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。</p>	○	○	20
2学期	<p>D単元 表現・鑑賞/絵画</p> <p>1 課題テーマ「手」</p> <p>2 課題テーマ「ノミを持つ手」</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>手の持つ豊かな表情や動きを感じ取り、形体や骨格などを捉え、鉛筆や消しゴムなど描画材の特性を生かして創意工夫し、空間を意識し、しゅだいを追求して創造的に表現しようとしている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>豊かな表情を見せる手を基に主題を生成し、形体や構図の効果などを考え構想を練ったり、自分や友人が描いた作品や作家の作品のよさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫について考えるなどして、見方や感じ方を深めている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>手の持つ豊かな表情や動きなどを基に構想を練り、意図に応じて工夫して表す表現活動及び、作者の心情や表現の意図と工夫などを考える鑑賞活動に主体的に取り組み、美術や美術文化と豊かに関わろうとしている</p>	○	○	<p>知識・技能】</p> <p>「知」手の持つ豊かな表情や動きを感じ取り、形体、質感や骨格などを捉え、生命力などを全体のイメージで捉えることを理解している。</p> <p>モチーフの光の関係性を把握し、質感や立体感などの表現すべきポイントを理解している。ハイライトデッサンの技法を理解し、6H～6Bの鉛筆の特性を生かし空間を意識して、創造的に描いている。また、線の強弱など表現方法を創意工夫して表現している。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>「発」豊かな表情を見せる手を基に主題を生成し、形体や構図の効果などを考え、創造的な構想を練っている。</p> <p>「鑑」友達の作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>手の持つ豊かな表情や動きなどを基に構想を練り、意図に応じて工夫して表す表現活動に主体的に取り組み、意図と工夫などを考える鑑賞の創造活動に主体的に取り組みようとしている。</p>	○	○	20
	<p>E単元 表現・鑑賞/絵画</p> <p>構成デッサン 5時間2作品</p> <p>形、濃淡、面積費などの変化が与える心理的効果や、造形的な特徴などを基に全体のイメージなどで捉えることについて理解を深めるとともに意図に応じて表現方法を追求し、個性を生かして創造的に表す。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>相互の関係性による画面構成の意義について考えながら個性を生かして創造的な表現の構想を練ったり、表現意図に応じた画面構成の工夫によるよさや美しさを感じ取りながら、自己の価値観を働かせて見方や感じ方を深めたりする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>構成をテーマにしたデッサンに関する創造的な諸活動に主体的に取り組む。</p>	○	○	<p>【知識・技能】</p> <p>「知」形、濃淡、面積比などの変化が与える心理的効果やぞうけいけいきな特徴などを基に全体のイメージで捉えることを理解している。「技」意図に応じて材料や用具の特性を生かすとともに、モチーフの相互の関係性などを考えながら描写の密度変化の工夫により個性を生かして創造的に表現している。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>「発」相互の関係性を考え、個性を生かして創造的な構想を練っている。</p> <p>「鑑」造形的なよさや美しさを感じ取り、表現意図に応じた画面構成の工夫によるよさや美しさを感じ取りながら、見方や感じ方を深めている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>モチーフ相互の関係性を考えながら画面を構成していく表現の諸活動に主体的に取り組もうとしている。作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、構成デッサンについて考え見方や感じ方を深める鑑賞の諸活動に主体的に取り組もうとしている。</p>	○	○	10
3学期	<p>F単元 表現・鑑賞/絵画</p> <p>静物デッサン（応用）</p> <p>【知識及び技能】形や鉛筆の色合い、明暗、質感などの効果、全体のイメージなどを捉え、線の強弱や鉛筆の6H～6Bまでの特性を生かして表す。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】モチーフの特徴や美しさなどを基に、形や濃淡、質感などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】モチーフの特徴や美しさなどを捉えて表す創造活動に、主体的にとらえる。</p>	○	○	<p>【知識・技能】</p> <p>「知」形や色彩、明暗、質感などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、モチーフの特徴や美しさなどを全体のイメージで捉えることを理解している。</p> <p>モチーフの光の関係性を把握し、質感や立体感などの表現すべきポイントを理解している。ハイライトデッサンの技法を理解し、6H～6Bの鉛筆の特性を生かして創造的に描いている。また、線の強弱など表現方法を創意工夫して表現している。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>「発」モチーフの特徴や美しさなどを観察し、感じ取ったことや考えたことなどから主題を生成し、表現形式の特性を生かし、形や濃淡、質感などを考え、創造的な構想を練っている。</p> <p>「鑑」友達の作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p>	○	○	6

期						<p>▲上坪坪にア目にかノ解ヒ感感▲ 他の生徒の作品を鑑賞し、プロセスを振り返ること で造形的な良さや美しさを感じ取り、次の制作につな げる意欲と感心を高める鑑賞の創造活動に取り組もう としている。</p>			合計	70
---	--	--	--	--	--	---	--	--	----	----

高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 外国語 科目 論理・表現Ⅲ

教科：外国語

科目：論理・表現Ⅲ

単位数：2 単位

対象学年組：第3学年 A組～H組

教科担当者：（A,D組：井上）（B,F組：石川）（C,G組：渡部）（E,H組：増岡）（組：）（組：）

使用教科書：（Factbook English Logic and Expression III 桐原書店）

教科 外国語

の目標：

【知識及び技能】英語を読み、聞き、話し、書くうえで必要な文法、構文や語彙を身につける。また、言語背景にある文化や成り立ちについて知り、語学を切り口に日本以外の文化や世界への興味・関心を醸成する。

【思考力、判断力、表現力等】英語を読み、聞き、話し、書く中で適切な表現を知り、活用することができる。また題材に即した内容で、自分の考えを表現することができる。

【学びに向かう力、人間性等】未知の言語に対して間違いを恐れずに取り組みことができ、また語学がもつ曖昧さや複雑さに柔軟に対応し、他者との関わりに主体的で前向きな姿勢で臨んでいる。

科目 論理・表現Ⅲ

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
コミュニケーションを支えるものとしての文法の形式・意味・機能に習熟し、必要な場面で適切な文法形式を用いて正しく表現することができる。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、情報や考え、気持ちなどを、複数の資料を活用しながら多様な語句や文を用いて、論理の展開や構成を工夫しながら話したり書いたりして伝える。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手・話し手に配慮しながら、主体的に英語を用いて話して伝え合おうとする。また、読み手に配慮しながら、主体的に英語を用いて書いて伝えようとする。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		聞	読	話 （ や ）	話 （ 発 ）	書					
単元 Unit 1 Future of jobs in the AI era 将来の職業について、様々な意見を知り、論理的に考えることができ、意見を述べるすることができる。	意見型のパラグラフの構成やそこで使われる表現を理解し、適切に活用することができる。	○	○	○		○					8
単元 Unit 2 How have you grown as a person in your high school life? 人が成長する過程について論理的に考えることができる。また、意見を述べることができる。	説明・描写型のパラグラフの構成やそこで使われる表現を理解し、適切に活用することができる。	○	○	○		○					8
1 学 期 定期考査							○	○			1
単元 Unit 3 How do people use different types of media?ニュースサービスの利用状況のグラフについて論理的に考えることができる。また、意見を述べることができる。	グラフ説明型（1要因）のパラグラフの構成やそこで使われる表現を理解し、適切に活用することができる。	○	○	○							8
単元 Unit 4 3R approach in order to save the environment環境保護の方法を見つけるために、3Rの特徴について論理的に考えることができる。また、意見を述べることができる。	比較・対比型（比較）のパラグラフの構成やそこで使われる表現を理解し、適切に活用することができる。	○	○	○							8

高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 外国語 科目

英語コミュニケーションⅡ（受験英語・標準）

教科： 外国語 科目： 英語コミュニケーションⅡ（受験英語・標準） 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 3 学年 A 組～ H 組

教科担当者： (①⑤組：石崎) (②③④⑧組：井上) (⑥⑦組：和田)

使用教科書： (数研出版 Blue Marble English CommunicationⅡ)

教科 外国語 の目標：

- 【知識及び技能】 英語を読み、聞き、話し、書くうえで必要な文法、構文や語彙を身につける。また、言語背景にある文化や成り立ちについて知り、語学を切り口に日本以外の文化や世界への興味・関心を醸成する。
- 【思考力、判断力、表現力等】 英語を読み、聞き、話し、書く中で適切な表現を知り、活用することができる。また題材に即した内容で、自分の考えを表現することができる。
- 【学びに向かう力、人間性等】 未知の言語に対して間違いを恐れずに取り組むことができ、また語学がもつ曖昧さや複雑さに柔軟に対応し、他者との関わりに主体的で前向きな姿勢で臨んでいる。

科目 英語コミュニケーションⅡ（受験英語・標準） の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
英語の5領域を伸ばしていくうえで必要な文法事項を理解し、かつ必要な語彙を十分に身につけている。	まとまった文章を読み、ある程度の速度と正確さで内容を把握することができる。また学んだ文法事項や英単語から適切なものを選び組み合わせる能力、また題材や指示に従って、まとまりのある文章を論理的に組み立てることができる能力を養う。	文章を主体的に読もうとする姿勢が見られる。また他者と会話を続けたり、伝わるように意識しながら文章を書くなど、人と関わり合う、主体的かつ協働する姿勢が見られる。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配当 時数
		聞	読	話 [や]	話 [発]	書					
Switch5 UNIT 1 生物多様性に関する説明文を読み、概要を把握することができる REPS Chapter 1 動詞の語法・文型を理解し、応用問題に対応できる力を養う	【知識及び技能】 既習の文法事項や語彙を駆使して読み、問題の指示に従って解いている。 【思考力、判断力、表現力等】 入試レベルの長文に対し、制限時間内に読み、問題に答えることができる。また長文のパラグラフリーディングや要約を通じ、内容を正しく理解し再構築することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に英文を読もうとしている。また自分が理解した内容を他者にわかりやすく伝えようとする姿勢が見られる。	○	○	○	○	○	既習の文法事項や語彙を駆使し、キーワードやトピックセンテンスがどれか意識しながら読んだ。また問題の指示に従って解いた。 【思考力、判断力、表現力等】 入試レベルの長文に対し、制限時間内に読み、問題に答えることができた。また長文のパラグラフリーディングや要約を通じ、内容を正しく理解し再構築することができた。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に英文を読もうとした。また自分が理解した内容を他者にわかりやすく伝えようとする姿勢が見られた。	○	○	○	8
Switch5 UNIT2 物語文を読み、概要を把握することができる REPS Chapter 2 動詞の語法・文型を理解し、応用問題に対応できる力を養う	【知識及び技能】 既習の文法事項や語彙を駆使して読み、問題の指示に従って解いている。 【思考力、判断力、表現力等】 入試レベルの長文に対し、制限時間内に読み、問題に答えることができる。また長文のパラグラフリーディングや要約を通じ、内容を正しく理解し再構築することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に英文を読もうとしている。また自分が理解した内容を他者にわかりやすく伝えようとする姿勢が見られる。	○	○	○	○	○	既習の文法事項や語彙を駆使し、統計の表現やグラフの読み取りなどに意識しながら読んだ。また問題の指示に従って解いた。 【思考力、判断力、表現力等】 入試レベルの長文に対し、制限時間内に読み、問題に答えることができた。また長文のパラグラフリーディングや要約を通じ、内容を正しく理解し再構築することができた。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に英文を読もうとした。また自分が理解した内容を他者にわかりやすく伝えようとする姿勢が見られた。	○	○	○	2
Switch5 UNIT3 海洋生物に関する説明文を読み、概要を把握することができる REPS Chapter 3 時制を理解し、応用問題に対応できる力を養う	【知識及び技能】 既習の文法事項や語彙を駆使して読み、問題の指示に従って解いている。 【思考力、判断力、表現力等】 入試レベルの長文に対し、制限時間内に読み、問題に答えることができる。また長文のパラグラフリーディングや要約を通じ、内容を正しく理解し再構築することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に英文を読もうとしている。また自分が理解した内容を他者にわかりやすく伝えようとする姿勢が見られる。	○	○	○	○	○	既習の文法事項や語彙を駆使し、複数の品詞を持つ単語の読解などに意識しながら読んだ。また問題の指示に従って解いた。 【思考力、判断力、表現力等】 入試レベルの長文に対し、制限時間内に読み、問題に答えることができた。また長文のパラグラフリーディングや要約を通じ、内容を正しく理解し再構築することができた。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に英文を読もうとした。また自分が理解した内容を他者にわかりやすく伝えようとする姿勢が見られた。	○	○	○	8
定期考査								○	○		1
Switch5 UNIT4.5 論説文と人物の語り文を読み、概要を把握することができる REPS Chapter 4.5 態と助動詞を理解し、応用問題に対応できる力を養う	【知識及び技能】 既習の文法事項や語彙を駆使して読み、問題の指示に従って解いている。 【思考力、判断力、表現力等】 入試レベルの長文に対し、制限時間内に読み、問題に答えることができる。また長文のパラグラフリーディングや要約を通じ、内容を正しく理解し再構築することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に英文を読もうとしている。また自分が理解した内容を他者にわかりやすく伝えようとする姿勢が見られる。	○	○	○	○	○	既習の文法事項や語彙を駆使し、ディスコースマーカーに注意し全体の流れをを意識しながら読んだ。また問題の指示に従って解いた。 【思考力、判断力、表現力等】 入試レベルの長文に対し、制限時間内に読み、問題に答えることができた。また長文のパラグラフリーディングや要約を通じ、内容を正しく理解し再構築することができた。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に英文を読もうとした。また自分が理解した内容を他者にわかりやすく伝えようとする姿勢が見られた。	○	○	○	8
Switch5 UNIT6.7 論説文と説明文を読み、概要を把握することができる REPS Chapter 6.7	【知識及び技能】 既習の文法事項や語彙を駆使して読み、問題の指示に従って解いている。						既習の文法事項や語彙を駆使し、挿入や同格などに注意し、頻出するthatの用法を意識しながら読んだ。また問題の指示に従って				

1 学期

		心。また長文のバグフリーディングや要約を通じ、内容を正しく理解し再構築することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に英文を読もうとしている。また自分が理解した内容を他者にわかりやすく伝えようとする姿勢が見られる。	○	○	○	○			み、問題に答えることができた。また長文のバグフリーディングや要約を通じ、内容を正しく理解し再構築することができた。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に英文を読もうとした。また自分が理解した内容を他者にわかりやすく伝えようとする姿勢が見られた。	○	○	○	19
	Cutting edge Chapter 9,10 挿入や同格、thatの機能を見分けて読むことができる。	【知識及び技能】 既習の文法事項や語彙を駆使して読み、問題の指示に従って解いている。 【思考力、判断力、表現力等】 入試レベルの長文に対し、制限時間内に読み、問題に答えることができる。また長文のバグフリーディングや要約を通じ、内容を正しく理解し再構築することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に英文を読もうとしている。また自分が理解した内容を他者にわかりやすく伝えようとする姿勢が見られる。	○	○	○	○			【知識及び技能】 既習の文法事項や語彙を駆使し、挿入や同格などに注意し、類出するthatの用法を意識しながら読んだ。また問題の指示に従って解いた。 【思考力、判断力、表現力等】 入試レベルの長文に対し、制限時間内に読み、問題に答えることができた。また長文のバグフリーディングや要約を通じ、内容を正しく理解し再構築することができた。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に英文を読もうとした。また自分が理解した内容を他者にわかりやすく伝えようとする姿勢が見られた。	○	○	○	20
	定期考査									○	○		1
	Cutting edge Chapter 11,12 構文やバグフリーディングに注意して、読むことができる。	【知識及び技能】 既習の文法事項や語彙を駆使して読み、問題の指示に従って解いている。 【思考力、判断力、表現力等】 入試レベルの長文に対し、制限時間内に読み、問題に答えることができる。また長文のバグフリーディングや要約を通じ、内容を正しく理解し再構築することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に英文を読もうとしている。また自分が理解した内容を他者にわかりやすく伝えようとする姿勢が見られる。	○	○	○	○			【知識及び技能】 既習の文法事項や語彙を駆使し、構文に注意し、バグフリーディングごとのつながりを意識しながら読んだ。また問題の指示に従って解いた。 【思考力、判断力、表現力等】 入試レベルの長文に対し、制限時間内に読み、問題に答えることができた。また長文のバグフリーディングや要約を通じ、内容を正しく理解し再構築することができた。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に英文を読もうとした。また自分が理解した内容を他者にわかりやすく伝えようとする姿勢が見られた。	○	○	○	19
	Cutting edge Chapter 13,14 一般常識などの基礎知識を用いたり、表やグラフを読み取ることができる。	【知識及び技能】 既習の文法事項や語彙を駆使して読み、問題の指示に従って解いている。 【思考力、判断力、表現力等】 入試レベルの長文に対し、制限時間内に読み、問題に答えることができる。また長文のバグフリーディングや要約を通じ、内容を正しく理解し再構築することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に英文を読もうとしている。また自分が理解した内容を他者にわかりやすく伝えようとする姿勢が見られる。	○	○	○	○			【知識及び技能】 既習の文法事項や語彙を駆使し、一般常識などの地域を用い、表やグラフの読み取りを意識しながら読んだ。また問題の指示に従って解いた。 【思考力、判断力、表現力等】 入試レベルの長文に対し、制限時間内に読み、問題に答えることができた。また長文のバグフリーディングや要約を通じ、内容を正しく理解し再構築することができた。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に英文を読もうとした。また自分が理解した内容を他者にわかりやすく伝えようとする姿勢が見られた。	○	○	○	18
	定期考査									○	○		1
2 学 期	Cutting edge Chapter 15,16 指示語や行間を読むなど、内容を明確にしながらか読むことができる。	【知識及び技能】 既習の文法事項や語彙を駆使して読み、問題の指示に従って解いている。 【思考力、判断力、表現力等】 入試レベルの長文に対し、制限時間内に読み、問題に答えることができる。また長文のバグフリーディングや要約を通じ、内容を正しく理解し再構築することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に英文を読もうとしている。また自分が理解した内容を他者にわかりやすく伝えようとする姿勢が見られる。	○	○	○	○			【知識及び技能】 既習の文法事項や語彙を駆使し、指示語が指す内容や行間などを意識しながら読んだ。また問題の指示に従って解いた。 【思考力、判断力、表現力等】 入試レベルの長文に対し、制限時間内に読み、問題に答えることができた。また長文のバグフリーディングや要約を通じ、内容を正しく理解し再構築することができた。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に英文を読もうとした。また自分が理解した内容を他者にわかりやすく伝えようとする姿勢が見られた。	○	○	○	18

